

葉山町教育委員会第1回臨時会会議録

- 1 開会年月日 令和2年8月5日(水)
- 2 開会場所 保育園・教育総合センター 会議室2
- 3 出席委員 教育長 返町和久
教育長職務代理者 鈴木伸久
委員 小峰みち子
委員 水沢 勉
委員 下位勇一
- 4 出席職員 教育部長 沼田茂昭
学校教育課長兼教育研究所長 瀧名恵美子
学校教育課指導主事 梶浦いづみ、大黒貴文、松本美穂
- 5 議長 教育長 返町和久
- 6 書記 教育部長 沼田茂昭
- 7 開会 午前9時30分

(開会宣言)

教 育 長) ただいまから葉山町教育委員会第1回臨時会を開会いたします。

本会議につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定による定足数に達しておりますので、有効に成立しております。

時刻は9時30分です。

本日の日程といたしましては、次第にあるとおり、日程第1 議案13号「令和3年度使用中学校教科用図書採択について」となっております。会議次第についてご異議ありませんか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。

会議録作成の都合上、質疑の際は挙手をお願いいたします。委員の名前を指名した後、ご発言をいただきます。

質疑等をされるときには、何についてのものであるか、明確をお願いいたします。

なお、本日は議事が長時間にわたることが予想されるため、途中で休憩を入れる場合があります。あらかじめご了承くださいと思います。

また、もう1点、大変恐縮ですけれども、この部屋のエアコンが折あしく故障しております。したがって、自然な風の中での会議になりますので、この点も併せてご理解をお願いしたいと思います。

(議案第13号)

教 育 長) それでは、これから日程第 1、議案第 13 号「令和 3 年度使用中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

事務局に対して説明を求めます。部長、お願いします。沼田教育部長。

教 育 部 長) 議案第 13 号 令和 3 年度使用中学校教科用図書の採択について。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条第 1 項の規定に基づき、中学校教科用図書を採択する。

令和 2 年 8 月 5 日提出

葉山町教育委員会
教育長 返町和久

提案理由

令和 3 年度使用中学校教科用図書を採択する必要があり、葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第 2 条第 1 項第 15 号の規定により提案するものです。

なお、本年 7 月 16 日に開催された葉山町教科用図書採択検討委員会において採択された各種目の第 1 候補、第 2 候補の一覧表を参考資料として添付させていただいております。

以上です。

教 育 長) この件について補足がありますか。瀧名学校教育課長。

学校教育課長) ただいまの議題につきまして、部長よりご説明申し上げましたが、さらにこれまでの経過等につきまして、ご報告させていただきます。

まず、小・中学校で使用する教科用図書につきましては、教育基本法第 1 条教育の目的、同第 2 条教育の目標及び学校教育法第 21 条義務教育の目標に適合するものの中から、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、葉山町教育委員会が採択するものでございます。

これに伴いまして、今年度の 4 月 15 日に開催いたしました定例教育委員会において、葉山町立小・中学校の教科用図書の採択方針及び葉山町教科用図書採択検討委員会の設置及び運営に関する要綱を承認し、これに基づき、採択事務を行ってまいりました。ここで採択方針を読み上げまして、再度確認をさせていただきたいと思っております。

「葉山町立小・中学校使用教科用図書の採択方針」葉山町教育委員会

葉山町教育委員会は次の事項に留意し、総合的な判断のもとに小・中学校使用教科用図書の採択を行う。

(1) 教科用図書の採択に当たっての留意事項について。

1 採択は静ひつな環境において採択権者が自らの責任と権限において適正かつ公正に行う。

2 実際の採択に当たっては必要な機関を設置し、対象となる教科用図書につ

いて十分な調査研究及び検討を行う。

3 児童・生徒及び地域等の実情を十分に考慮する。

(2) 教科用図書の調査研究について。

1 葉山町教育委員会は公正かつ適切な資料作成を行うため、逗子市教育委員会及び三浦市教育委員会と協力する。

2 調査研究は学習指導要領の各教科の目標及び神奈川県教育委員会の示す観点等を踏まえるとともに、児童・生徒及び地域等の実情を考慮して行う。

以上、採択方針を確認させていただきました。

令和3年度使用小・中学校教科用図書の採択につきましては、令和2年3月27日付文部科学省通知「令和3年度使用教科書の採択事務処理について」を受けて、採択業務を行うこととなります。

小学校教科用図書の採択については、「無償措置法第14条の規定に基づき、無償措置施行規則第6条各号に掲げる場合を除いて、令和元年度と同一の教科書を採択しなければならないこと」とあるため、7月15日（水曜日）に開催した葉山町教育委員会7月定例会において、令和元年度と同一の教科書を採択いたしました。

中学校教科用図書の採択については、全ての教科書について新たに採択を行うこととなっておりますので、本日の葉山町教育委員会第1回臨時会においてご審議いただきます。

では、令和3年度使用中学校教科用図書の採択につきまして、本日に至るまでの経緯についてご説明させていただきます。

令和2年5月1日（金曜日）の15時より、第1回葉山町教科用図書採択検討委員会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議とし、要綱の確認、委員長の選出、小学校教科用図書採択について等、回答票により全員の承認をいただいております。

令和2年5月12日（火曜日）には、葉山町教育総合センターにおきまして、14時より、2市1町合同研究委員会を、同日15時半より、2市1町合同調査委員会を開催する予定でしたが、こちらも新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催とし、文書にて、神奈川県教育委員会の義務教育諸学校使用教科用図書採択方針に基づき、定められた調査研究の観点による資料作成について、委員並びに調査員に依頼いたしました。この調査研究機関については、この日より7月1日までとなっております。資料作成に当たっては、県教科用図書選定審議会の答申を受けて作成された調査研究結果も参考としております。

また、土・日を除く6月12日より6月25日までの期間、教育総合センターまなびの広場において、教科用図書展示会を開催いたしました。

7月16日（木曜日）午前9時より、第2回葉山町教科用図書採択検討委員会を

開催いたしました。

初めに事務局より、上述の検討の流れ、2市1町合同研究委員会の調査結果及び教科書展示会における地域・保護者によるアンケート結果の説明をいたしました。

なお、2市1町合同研究委員会の調査は、2市1町の中学校の教職員の意見を広く集めるために行うものでございます。

また、教科書展示会におけるアンケートでは、コロナ禍の下における教育についてご意見をいただいております。その後、各教科の2市1町合同調査委員会調査員からの報告及び質疑を行いました。

調査員は全ての教科書について生徒の実態を踏まえ、専門的な視点から調査研究を行っており、採択検討委員会の場で、主にそれぞれの教科書の特徴的な内容等について報告を行いました。

以上の資料を十分参照した上で、何を学ぶかだけでなく、それぞれの教科書を使ってどのように学ぶか、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の視点は見られるか、今日的な課題をどのように取り上げているか、さらには体裁や分量はどうかなどの視点を持って検討を行い、先ほど示されました採択のための参考資料を作成いたしました。

そして本日8月5日（水曜日）、臨時教育委員会の開催に至っております。

以上でございます。

教 育 長) ただいま議題に関わる説明及び経緯に関わる説明がありました。ご質問ございますか。

では、私から1つ確認いたします。先ほど来、名前が挙げられている2市1町合同研究委員会と、同じく2市1町合同調査員会、その違いをかいつまんで、改めて説明をお願いいたします。梶浦指導主事。

学校教育課指導主事) いずれも採択検討委員会の依頼により調査研究を行うものとなっております。

合同研究委員会につきましては、2市1町の教育研究会、これは教職員による自主的な研究組織でございますが、その事務局を担当する学校の校長3名による会議となっております。各市町、各学校の教職員による調査研究結果の取りまとめを行います。

また、合同調査員会につきましては、各教科を担当する教員が各市町から1名ずつ調査員の委嘱を受け、3名で担当種目の見本本について調査研究を行います。この調査員は採択検討委員会において報告を行います。

説明は以上です。

教 育 長) 広く全職員の意見を聞くような仕組みと専門家の意見を聞く仕組み、そういうふうに2つあるということになるかと思えます。

ほかに何かご質問ございますか。よろしいですか。では、ほかにはご質問なし

と認めます。

それでは、中学校で使用する教科用図書について、これから審議してまいりたいと思います。

進め方は以下のとおりです。教科・種目ごとに進めていきます。初めに事務局から検討委員会の調査結果及び協議結果について、その種目ごとの説明を受けたいと思います。それを受けて我々委員で意見を出し合い、合議制で決定をしたいと思います。

なお、審議に当たりましては、原則として全ての教科書会社を対象にしていきます。言い換えると、採択検討委員会で挙げた候補だけにしないということです。ただし、採択検討委員会によって挙げられた候補は、これはあくまでも参考資料ではありますけれども、広く現場の声を反映したものとして一定の尊重が払われるべき、今風に言うところリスペクトですか、そういうものであるというふうを考えております。

最後に、採択の決定方法について確認します。決定は出席委員の過半数以上の推薦があることといたします。過半数に達する推薦が出なかった場合については、候補を2社に絞って、改めて審議し、決定いたします。

2社の絞り方は次のようにいたします。推薦が、この5人の委員の中で2対2対1に分かれた場合は、2票を獲得した2社に絞りたい。また、推薦が2対1対1対1の場合は、2票獲得の会社を一つの候補とし、それから1票獲得の会社、3社のうち、2市1町合同研究委員会による調査研究の結果で上位を得た会社を次の候補にしたいと思います。2市1町合同研究委員会による調査研究の結果の中には数値化された部分がありますので、それを使って上位の会社にするということになります。また、めったにないとは思いますが、推薦が5人において1対1対1対1対1になった場合については、この1票を獲得した会社のうち、2市1町合同研究委員会による調査結果が上位の2社を候補とする。今ほど説明をした調査結果です。このようにしたいと思いますが、決定方法についてご異議ございませんでしょうか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) 異議なしと認めます。

それでは、早速審議に入ります。まず、国語から始めます。なお、大変恐縮ですけれども、全体の時間配分もありますので、また、本日は皆さんマスク越しの意見ということになりますので、意見を述べられる際には簡潔明瞭にお願いをしたいと思います。

それでは、まず検討委員会の調査結果及び協議結果について、事務局から説明をお願いします。梶浦指導主事。

学校教育課指導主事) まず初めに、資料の確認をさせていただきます。教科用図書研究の結果（地

域・保護者)、2つ目が教科用図書調査研究の結果(教育研究会)、教科用図書調査研究の結果(調査員)、それから先ほどご説明いたしました、候補を記した参考資料。加えて、社会科の採択に関する要望書、意見書等が3部提出されております。

それでは、これより葉山町教科書採択検討委員会として協議した内容の概要を教科ごとにご説明いたします。なお、会社名は一部省略して申し上げます。

では、国語について報告いたします。

東京書籍。主体的・対話的で深い学びのために、読むこと、書くこと、話すこと、聞くことの学習を支える知識・技能について学ぶことができるようになっていく。語彙をいかに増やすかというところに力を入れている。作品もかなり精選されている。

三省堂。ステップ1から5の、見通しから振り返りまでの学習過程を踏むことにより、主体的・対話的で深い学びにつながる構成になっている。本編と資料編の2部構成になっている。特に資料編が充実している。

教育出版。課題を考えるための学びのキーワードを7つに分類し、3年間でそれぞれの単元に位置づけている。これらのキーワードは国連のSDGs、持続可能な開発目標とも深く関係している。情報について、「まなびリンク」という学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。

光村図書。生徒が見通しを持って主体的に学習に取り組むことができるように、各教材とも、考えよう、確かめよう、生かそうという、学びのステップが一目で見られる構成となっている。初めて国語を教える教員でも、授業の流れをつくりやすいような構成となっている。

協議の結果、町内中学校の国語科では、語彙力を豊かにすることを一つの目標にしていること、語彙力の育成及び詩の扱いなどから、第1候補を東京書籍といたします。第2候補については、学びの見通しを持たせる構成から三省堂。教科書として作り込まれているという面で、光村図書の2点といたしました。

以上です。

教 育 長) 今の事務局説明に関して、ご質問等ございますか。今朝ほどお配りしましたので、事前にお目通しいただいているかと思いますが。

特にご質問がなければ、委員の皆様方のご意見を承ってまいります。小峰委員から順次、反時計回りにお伺いしたいと思います。小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) まず、三省堂と光村図書は、質の高い教材と巻頭の学習の進め方等に関わるページも大変充実しています。巻末の付録もそれぞれ工夫されていますし、本当に完成度の高い教科書だと思っています。

それから、東京書籍は教材文の後ろについている手引の設問が細かく、ワークシートを作っているような感じもあるので、この辺は細かいほうがいいのかどう

かというところは検討の余地があります。

そういう意味で言うと、どの教科書も本当に質は高いと思っていますが、私はあえて教育出版の「学びナビ」というこの教材をどういう視点で読み進めるかということが教材文の前についているのは、ほかと違って、生徒一人一人の学びに役立つと思いました。そういう点で教育出版を推したいと思えます。

ほかのところに触れて言えば、光村図書は学習の記録、書き留めるノート of 例とか、それから情報メモとか、アンソロジーなど、1年生から3年生まで読書感想文の紹介など、丁寧な点は大変好感が持てました。あと、ビブリオバトルという言葉がどの教科書にも出てくる…光村図書だけは出てなかったかもしれませんが、三省堂と教育出版はそのビブリオバトルの方法が丁寧に説明してありました。東京書籍はちょっと説明が足りないかなというふうに思いました。特に、三省堂は、読書活動のブックトークとか、ブッククラブとか、3年間を通して読書活動を丁寧に載せている点は評価できました。

ですが、戻りまして、私は教育出版の「学びナビ」が、ほかのところとは違って新しい試みであるという点を評価したいので、教育出版を推したいと思えます。

教 育 長) では、続いて下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 光村図書、東京書籍で悩みましたが、光村図書を推したいと思えます。

冒頭にこの学年での学習見通しが記載されており、1年間で学ぶことを横断して知ることができます。また、1年生最初の単元では、小学校からの接続を意識した教材となっています。今回の指導要領に追加されました情報の扱い方についても、学年ごとに系統的にまとめられていると感じました。日本人として、日本で生活していく上で一番大切な教科であると思えますが、文字から様々な情報や感情を捉えられるようになる工夫も多く見られました。

東京書籍の作品の選び方、「言葉の力を見つけよう」という内容や取組には魅力がありましたが、総合的に優れていた光村を推させていただきます。以上です。

教 育 長) では、水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私も光村図書を推したいと思えます。

まず総合的に教科書として使いやすいであろうということが大きい判断要因です。私もレイアウトとかデザインとか、そういうことも大変気にして教科書を見ていますが、光村図書はそういう点でも大変優れていて、読みやすい、手に取りやすい、いろんな点で優れているというふうに思えます。また、内容的にも、幾つかのテキストは書き下ろしで特別なテキストですので、この教科書に合わせたためのテキストが選ばれているということも、読む側にはある意味で説得力、読みたいという気持ちや意欲を積極的に引き起こすテキストが選ばれている点も優れていると思えます。

どの教科書もそれぞれに優れておりますけれども、三省堂はやはり内容が手堅

いものが選ばれていると思います。そういう意味では、文章の基本の力をつけるためにはいい教科書だと思いました。

あと、東京書籍は、ほかのちょっと教科書と違って、詩に対して非常に重要なセクションをしていて、この教科書を丁寧に読めば、詩を読むということがどういうことかということの、何か基本的な感受性を養うことができる内容になっている。コンテンツにおいて、東京書籍はなかなか魅力的です。

同じことは教育出版にも言えまして、時代意識が一番色濃く反映している教科書である。それはどういうことかということ、先ほど説明も事務局からありましたけど、SDGsなどに対してもきちんと意識をはっきり持っているし、公的なこと、AIなどもトピックとして取り上げている。そういう点も内容的に教育出版は魅力的ですが、ややちょっと全体のつくりは手堅い分、やや地味になってしまったと感じます。そういう点では光村図書はやはり生徒さんたちにとっては魅力的な、何か引きつける力を持っている教科書というふうに思え、一番に光村図書を選びました。以上です。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴木委員) 私は教員資格を持っているわけではないので、教科書の内容的なものまでは、なかなか分かりづらいところがあるんですけど、教員の研究会なんか見ていると、何か光村がちょっと抜けているような気が僕はしているので、僕は光村。

教 育 長) それでは、私から申し上げます。最初少し長くなりますけど、ご容赦ください。

国語に限らず、この後、私が教科書を選定していくときの考え方ということで、一々言うのも大変なので、あらかじめ言わせていただければと思います。当たり前過ぎることかもしれませんが、確認のため申し上げます。

今回の中学校教科用図書採択に当たっての全般的な考え方ということになります。大前提として、先ほど濱名課長からもありましたけれども、憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領等の基本的な法規をしっかり踏まえたものであること。この点に関しては、以前いらした山崎元教育委員が大変強調しておられましたので、改めてそのことも振り返りながらお伝えしたいと思います。

次に、これからの時代に求められる確かな学力といいますか、新しい学力観に沿ったものであること。すなわち、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力の育成、主体的に学習に取り組む態度や、多様な人々と協働する態度の育成。その際、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を媒介とすること。また、生徒の発達段階を考慮し、生徒の言語活動の充実。いずれも学習指導要領の総則に書いてあることですが、こういったものをしっかり踏まえないといけないと思います。

それから、葉山町において、以前に作成いたしました「小・中学校9年間を見

通した育てたい葉山の子ども像」を踏まえ、小・中の継続性・連続性、接続に配慮する必要があると思います。

最後、4点目になりましょうか。これらの諸点を踏まえた上で、教員の教えやすさ、生徒の学びやすさに鑑み、できる限り教科書の継続性に配慮したい。こんなことを考えながら選定に当たりたいと思います。

私が国語について推す教科書は三省堂でございます。三省堂は巻頭の領域別教材一覧、大変分かりやすく、よくできていると思います。各教材を扱う際のつけたい力、これが明示されている。それと各教材の学習目標がしっかり関連づけられており、目的意識を持って授業と学習に臨むことができるかと思います。また、示された学習課題もそれぞれの教材に即して、具体的で取り組みやすいものになっています。話す、聞く、書くの各教材において、学習目標から学習の流れを経て振り返りに至るまで、構成がしっかりできています。レポート、意見文、批評文など、狭義の文学的教材以外のものの採用についても意欲的である。これも読解力育成の点で評価すべきものであると思っております。

なお、光村図書に関して申し上げますと、前回にも増して教材に関わるつけたい力と学習目標等がしっかり関連づけられていると感じました。巻末に「学習を広げる」という付録があり、実践的・実地的なものを含む、多様な学習の仕方に関する留意点がよくまとめられております。甲乙つけがたいといっても構いませんけれども、これを次点としたい。

先ほど読解力という言葉を使ってしまいました。昨年国語に関しては多少皆様方と論争したいような気持ちもありまして、その再現はいたしませんけれども、国語に関しては伝統的な、いわゆる国語的な力を養うということを超えた大きな役割があると思っております。それは何かというと、一口で言えば日本語力ということです。日本語をしっかり読み解いて、またそれをもとに日本語をしっかり表現できること、それが大事かと思っております。その際の日本語は決して文学的なものだけでなく、文学作品は、ある意味で修辞を駆使して、表現力を豊かにする、開花させるというところがあると思っております。それ以前のところで、基本的に、この文章は何を伝えようとしているのか、またこの文章で何を伝えなきゃいけないのか、そういうことを正確に読み解き、正確に再現すること、こういう力が求められると思っております。

私自身はかつて学生時代、社会科学を志した者でありまして、社会科学書や哲学書を読むときにも応え得るような日本語を読み解く力というものが必要だと思っております。したがって、レポートとか意見文とか批評文というふうなことについても、意欲的に関わるのが国語の教科書のもう一つの大きな役割だと思っております。

そんな意味で、個々教材や何かについては大きな差があるとは思いませんけれ

ども、そういう姿勢が鮮明であるということに関して三省堂を評価したい。これは教科書自体というよりも、今の国語教育に関して物申したいということになるかもしれません。ですが、そういうことを先生方には強く意識してもらいたいという意味で、三省堂を推したいというふうに考えました。

国語に関しては以上でございます。

さて、ご意見を承ったところで、確認いたします。小峰委員、教育出版。下位委員、光村図書。水沢委員、光村図書。鈴木委員、光村図書。私は三省堂を推しました。全体としては、各委員の意見をまとめますと、国語の教科書の採択は光村ということになるかと思えます。これでよろしいでしょうか。

委員全員) 異議なし。

教育長) 特にご異存がなければ、光村図書にしたいと思えます。

それでは、足早になりますけれども、続きまして書写の採択に移りたいと思います。事務局から説明を求めます。梶浦指導主事。

学校教育課指導主事) それでは、書写についてご説明させていただきます。

東京書籍。小・中学校の円滑な接続に関する工夫として、「小学校の学習を振り返ろう」が設定されている。文字を速く書く能力を育成するための工夫として、速く書きやすい書き方が具体例とともに紹介されている。

三省堂。単元の基本構成の7つのステップ、目標を確かめよう、書き方を学ぼう、見つけよう・考えよう、毛筆で書こう、学習を振り返ろう、書いて身につけよう、自分の言葉でまとめようでは、直接書き込むことができる。国語の授業に寄せた流れが特徴。

教育出版。筆記用具を表す記号が示されており、大筆、小筆、ボールペン、鉛筆、筆ペン、万年筆など、様々な筆記用具を使って取り組む課題が設定されている。

光村。硬筆連絡帳、書写ブックを新設し、硬筆課題を直接書き込むことができるようになっている。

第1候補は、使いやすさから光村、第2候補は、流れの分かりやすさ、見やすい構成という面で三省堂となっております。

以上です。

教育長) 特にご質問がなければ、意見に移りたいと思えます。小峰委員からどうぞ。

小峰委員) 私は、結果から言いますと、書写については光村図書のものを推したいと思います。

光村図書は学習するべき狙いと内容が明確で、分かりやすいページレイアウト、ぱっと見たときに大変分かりやすい教科書だなというふうに思いました。

それからもう一つ、ユニバーサルデザインの書体について触れているのは、身近なところで見やすさにこだわったデザインが活用されているということの子ど

もたちに伝えるのには、大変有効なページだなというふうに思いました。

東京書籍については、ページの中にいろいろなものがちょっと詰め込まれ過ぎていて、何かちょっと、主たるものはどれなのかというのがやや見にくいような感じもしました。

とはいえ、各社の教科書はほとんど差を感じていないというのも正直なところですが、あえてどこをポイントにするかということ、さっき書くための鍵となるものを意識させて、そのスペースをとっているという点で、光村図書のものが一番使いやすいのではないかと思って、これを推したいと思います。以上です。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私は光村図書を推したいと思います。

限られた時間数の中で効率的に学べる工夫がされている点、半紙原寸大の書き方見本が掲載されている点が優れていると感じました。QRコード連動で、動画による書き方の見本を見られることも評価できると思います。全生徒が情報端末を学校で利用するような時代になったら、このQRコードが教材として大変役に立つのではないかと思っています。また、常用漢字の楷書と行書のサンプルが巻末にありまして、迷った際にすぐに見られる書き方見本として価値があると感じました。以上です。

教 育 長) では、水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私は三省堂を1番に選びました。国語とのつながりを意識して評価したいと思います。それと、書き文字というのが、あくまで書いた文字というものを非常に重要視していますというメッセージが全体の構成の中にしっかりと伝わるということが大事で、その点でやはり光村図書の見やすさ、使いやすさ、それからユニバーサルデザインへの配慮、大変評価すべき点だとは思いますが、やはり書き文字というのはある意味では古い部分もあり、そういう伝統的な部分をしっかり意識した上で教科書全体を構成している点で、三省堂が一番いいと思いました。

東京書籍は、そういう点で、せっかく書というものを扱いながら、それを美しく見せるという意識がやや弱い点が残念なところというふうに思います。以上です。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 私はね、国語と書写はできれば同じ出版会社がいいんじゃないかなという先入観を持ってまして、やはり光村図書。

教 育 長) では、私から申し上げます。

書写は、自分が子どもの頃から苦手なところで、今に至るまで本当に苦勞する対象ですけれども。そういう意味で、本当に分かりやすいということを主に考えさせていただきました。光村図書を推したいと思います。光村につきましては、

書の基本点画等を初めとして、イラストや写真を使った説明が大変分かりやすいです。最初のところかもしれませんが、筆圧表示、すごく分かりやすいですね。参考になります。全体的に学習目標の置きどころも含めて、レイアウトもすっきりしていて、大変見やすいと感じました。そういう意味で推させていただきます。

これも最初のところかもしれませんが、東書も擬態語が入ってしまって、ああいうのも、私のような人間には大変参考になります。そういう意味で、書の基本的な説明を初めとして、学習の進め方が大変分かりやすいところがあります。次点に推すのかなというふうに考えました。以上でございます。

確認します。小峰委員、光村。下位委員、光村。水沢委員、三省堂。鈴木委員、光村。私も光村。ということでございますので、意見をまとめますと、採択の教科書、書写については光村になろうかと思えます。いかがでございますでしょうか。よろしいですか。

委員全員)

異議なし。

教育長)

それでは、書写は光村の教科書を採択いたします。

続きまして、地理に移ります。事務局の説明を求めます。大黒指導主事。

学校教育課指導主事)

地理についてご説明をさせていただきます。

東京書籍。各単元の導入で探求課題を示し、単元を貫く構成になっている。まために思考ツールを用いていて、整理しやすい支援が施されている。東北地方を取り上げている。歴史と関連させるマークが記載されている。

教育出版。領土学習における地図では、南東に太平洋を位置しているのが特徴的。SDGsを軸に単元を貫く流れをつくっている。近畿地方を歴史的視点として取り上げている。

帝国書院。QRコードが各章ごとについている。基礎・基本の用語の振り返りのページがあるなど、自分で学習を進めやすい。近畿地方の環境保全を取り上げており、修学旅行や公民との関連がうかがえる。

日本文教出版。単元を貫く問いではなく、見開き2ページで学習を終えるようなつくりになっている。

第1候補は、配列の見やすさで帝国書院、第2候補は思考ツールが豊富であることなどから、東京書籍となっております。以上です。

教育長)

特にご質問がなければ、ご意見、お考えを承りたいと思います。小峰委員、お願いします。

小峰委員)

私は写真ですとか、読み物資料とか図表など、いわゆる資料と言われるものが豊富な点、本文との釣合いも考えたときに、文書のほうが割合簡潔という点では、帝国書院と東京書籍の二つの出版社が評価できると思えました。

東京書籍のほうは、先ほど指導主事からもお話がありましたように、探求の課

題というので、単元を貫くような、子どもたちに思考のツールを与えるということでは、それもまたいいなというふうには思ったんですが、やはり魅力的な教科書としては帝国書院がいいかなと思っています。基礎・基本の用語の振り返りができる点ですとか、それから、各ページの下に学習内容に関する小学校との関連に触れてあるところがあり、そういう細かいところの配慮を評価した上で、ちょっと東京書籍のものと迷いました。この後の地図の採択を先に考えてしまうのは申し訳ないんですけども、私は地図と一体になって帝国書院のものを使えたらいいんじゃないかなという点で、地理の教科書は帝国書院を推したいと思っています。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 地理につきまして、一番魅力的に感じました帝国書院を推したいと思います。

小学校で学んだ内容との関連が各ページに記載されていること、振り返りのページが充実していることに感心しました。地名・事項それぞれに索引があるのが見やすいと思います。SDGsにつきましても、世界での事例が多く掲載されており、持続可能社会を実現するための具体的な施策が分かりやすく記載されていると思います。

以上の理由から帝国書院を推薦させていただきます。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 帝国書院を推したいと思います。

まず、とにかく内容が非常に豊富であり、それを教科書という枠のなかでできる限り伝えようとしていることを感じさせる教科書です。その点はやはり、地理というものはなかなか複雑で、簡単に整理できない問題も持っているのだと思います。ということを教員が説明しつつ読み解いていくという点で、内容が豊富ということは、ある意味分かりやすさ以上に大事ではないかと思います。その点、東京書籍は整理されていて分かりやすいのですけれども、よく自分でかみ砕いて学んでいくためのツールと考えるならば、帝国書院のほうの地理を一番に推したいと思います。以上です。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 私はもう地理とか地図ってどうも帝国書院が強い、見る限り、自分で見ている限り見やすいので、評価もやっぱりかなり高い評価が出ているので、私も帝国書院で。

教 育 長) では、私ですけども、やはり帝国書院を推したいと思います。満場一致になっちゃうのが、ちょっと申しわけないという感じですけども。

帝国書院の、冒頭導入資料、写真や地図などを配置して、関心を高める工夫があります。その上で、学習の全体像に関する見通しを持たせようとしているのが

明快だと思います。

内容に入りますと、1時間ごとの見通しを持つための学習課題を提示している。章や節の間と連動しています。さらに、章や節の終わりには、「学習のまとめと表現」があり、様々な振り返りの仕方が示されていて、地理的な見方・考え方を探究しやすいと思います。紙面の構成の点でも、地域の姿が見える写真、幾つもいいのがあったと思います。地図・資料等が豊富であり、興味・関心を持って取り組むことができるというふうに考えました。

なお、東書につきましては、各編の初めに、小学校で学んだ内容についてを振り返ろうという誘いの部分があります。また、各節の終わりにはまとめの活動があります。学習の連続性、小学校からのと併せてですね、そういうことに配慮がありまして、いい点かと思います。紙面に関しては全体に落ち着いた構成と配色があり、見やすくできています。次点に推したいというところでありました。

皆さんのご意見は全て帝国書院を推すということですので、地理についての採択は、帝国書院にするということによろしいでしょうか。

委員全員)

異議なし。

教育長)

では、地理は帝国の教科書を採択。

続きまして、地図に移ります。事務局の説明を求めます。大黒指導主事。

学校教育課指導主事)

地図について説明いたします。

帝国書院です。QRコードが地域ごとに設定されている。開いているページの地域が、世界、日本の中でどの辺りに位置するのかが一目で分かるように、ページに図が掲載されている。

東京書籍。地図帳だが、資料集のようにも使える。様々な事柄を関連づけながら学習を進めることができる。

地図は地図として扱うものと考え、第1候補は帝国書院、第2候補は東京書籍となっております。

以上です。

教育長)

では、小峰委員からお願いしてよろしいでしょうか。

小峰委員)

地図帳については2社しかありませんので、簡潔に、どちらの地図帳を持ちたいかということで決めました。帝国書院です。大判の地図帳というのが大変魅力的です。ページをめくって行って、朝鮮半島が見開きの2ページで、大きく取り上げていたというのは、最も近い国でありながら、あれほど詳しく、じっと見つめたいような地図に出会ったのは初めてだという、私の驚きというか、感動もありましたので、地図に対する興味を強く、いろんなところで子どもたちも持てるのではないかなというふうに思いました。まず、第一の魅力は大判であるということになるかと思いますが、帝国書院の地図を推したいと思います。

教育長)

下位委員、お願いします。

下位委員) 私も帝国書院を推したいと思います。

ページごとに、見ている地図が地球の、または日本のどこに該当するのかが表示されていて、感覚的に非常に分かりやすいというところが優れていると感じました。あと、全ての地図に振り仮名が振ってあることも、賛否はあるでしょうが、読み間違いが起こらないので歓迎したいと思います。地図の色使いが多少うるさいと感じましたが、情報量が非常に多いと思います。節や章の初めに単元の間が明確にされていて、課題、確認、振り返りと続く構成が深い学びにつながると感じました。以上です。

教育長) 水沢委員、お願いします。

水沢委員) 私も帝国書院を1番に推します。

視覚的な精度の高さという点で評価しました。とにかく情報量が豊富であると思いました。多少過剰なほどの情報が盛られている地図ではあるのですが、それも地図を読み解いていくということを考えたときには、とても大事な性格でもあると思いますので、帝国書院が優れていると思います。大判であるにもかかわらず、それほど重くもなく、手に取りやすく、それも魅力かと思います。

以上、帝国書院を推します。

教育長) 鈴木委員、お願いします。

鈴木委員) 先ほど地理のとき申し上げただけど、地理と地図はやっぱり同じ感覚で物を見たほうが良いと思う。帝国書院でお願いします。

教育長) 確認します。下位委員も帝国でよろしいですね。

下位委員) はい。

教育長) では、私もお話ししたいと思います。帝国書院をやはり推させていただきます。

皆様方の話にもありましたけれども、ワイドな画面で大変見やすいです。日本地図については全て北を上。ちょっと北陸なんか見え方が変わってきます。また、大陸から見た日本というふうな地図も、結構大きく掲載されていました。視点を多様化するという意味で、大変役立つのではないかと思います。冒頭に置かれた地図帳の使い方というものも、地図を道具として、地図という道具をそれ自体として使うという意味で、大変有効であると思います。強いて言えば、地図上の産地・産物表示、そんなにいらんんじゃないかという気がします。

東書のほうですけれども、小学校版に比べれば産地・産物記号、そんなに邪魔じゃない、そんなふうに思いました。全体としてレイアウトは、地図等も見やすく感じられるというところがあります。伝統的に写真、グラフ、基本資料なども充実しています。ただ、やはり大判であるかどうかということと、ページの配列・構成の関係だと思えますけれども、アフリカの地図とか、ヨーロッパの地図とか、若干物足りないなというところがありました。そのことだけ申し上げておきます。

では、確認させていただきます。全員帝国書院を推すということでもよろしゅうございますか。

したがいまして、地図についての採択でございますけれども、帝国の教科書を採択するというのもよろしいでしょうか。

委員全員) 異議なし。

教育長) では、そのようにさせていただきます。

では、続きまして、歴史に移りたいと思います。事務局の説明を求めます。梶浦指導主事。

学校教育課指導主事) それでは、歴史についてご説明させていただきます。

東京書籍。持続可能な社会の実現に向け、歴史から過去の事例を学び取る構成となっている。用語解説のページがあり、人物と事項に分かれている。カラーユニバーサルへの対応がされ、二次元バーコードで他分野とのつながりが学べる。

帝国書院。本文のある全ての右ページ端に年表が書かれ、該当部分に着色されており、一目で歴史全体のどの部分を学習しているのかが分かるようになっている。カラーユニバーサルへの対応がされており、世界遺産をまとめた表がある。

教育出版。歴史の継続性、持続可能な社会の実現を意識している。歴史すごろくで小学校の学習の振り返り、主に人物についてを行っている。カラーユニバーサルへの対応がされており、ほかの2分野とはSDGsの視点でつながりを持っている。

日本文教出版。各編には日本と世界との関わりの視点からの記述がある。2012年自公連立政権成立まで、近年の政治体制について記載されている。カラーユニバーサルや二次元コードの配慮がある。

育鵬社。巻頭に日本人の誕生物語、日本の美の形の特集がある。地域の事例が豊富に掲載されている。

山川出版。日本史関連が橙で、世界史関連が青の配色となっており、高校教科書へのつながりを感じる。各章のまとめが単元全体の推移、因果関係などに着目させ、比較する発問に対して全て文章で表記されている。

なお、学び舎につきましては、見本本の送付がなく、調査研究ができなかったため、審議はいたしません。

第1候補は、歴史的な語句を大切に扱い、議論できる構成となっている東京書籍、第2候補は、女性進出など、主張が込められているところから帝国書院となっております。

以上です。

教育長) 検定を通った教科書のうち、1社を除いて、ここでは審議することになります。その件に関してよろしいですか。特に資料も届けられていませんので、それ以外について審議したいと思います。では、小峰委員からお願いします。

小峰委員) 歴史の教科書に限ることではないと思いますけれども、学習を通じて人権とか国際関係の背景などになるものを、やっぱり中立的に、客観的に獲得できるものであることが最も大事な教科書の役目ではないかなと思いますので、そうした視点で目を通していくことを自分の中に戒めとして置いて見ていきました。

東京書籍、それから帝国書院、教育出版は大変バランスのよい記述がされているという印象です。他の教科書がそうではないかという、大きな差がつくことではないので、それぞれになるほどと思う工夫が、独自のその教科書出版社の見解でつけられていると思いました。

そういう点では、差別化しにくいところもあったんですけども、強いて推薦するとなると、私は帝国書院です。先ほどの地理、地図に続いての帝国書院なんですけれども、学習の振り返りの中に「話し合いを通して」という項目があるのが大変いいなと思いました。自分の考えを深めるというところにそれがつながっていくという点が、中学生の学びとして大事なかなと思いました。それから、各ページのところに年表がついていて、今、この件についてはここでの単元…単元というか、このセクションはどこの時代のことなのかということを確認しながら学習が進められるということも、とても大きな魅力かなと思いました。

繰り返して言うようですけども、じゃあ、ほかのところが駄目なのかとか、ほかの教科書では目的が達成できないのかと、全くそんなことはないんですけども、あえて、1つ推さなければいけないので、帝国書院ということです。以上です。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私は東京書籍を推したいと思います。

小学校で学んだことを記載することで、既に学習した重要な言葉の振り返りを関連づけています。まとめの活動や課題の解決では、生徒と先生の漫画的なキャラクターがきちんと解説しているところ、これも生徒に分かりやすいのではないかなと思いました。索引が人名と事項に分かれていて、引きやすい点もよかったと思います。事項ごとに年代グラフの表示がありまして、横断的にわかりやすい工夫がされていると感じました。また、歴史的資料の実写の割合が高いことも評価できるのではないのでしょうか。

東京書籍には、Dマークというインターネット対応コンテンツがございますが、教科ごとに様々な出版社が選択されている中、関連するほか教科の紙面が見られるというのでは、あまり意味がないように感じました。以上です。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 歴史については、私も東京書籍を推したいと思います。全体のバランスが大変いいと感じました。それと、最後に振り返ることによって、対話的な学びを促す。歴史はどうしても知識は無限に盛り込むことができちゃうので、どうしても煩

瑣になって、そのために歴史が苦手になってしまう生徒が生まれる傾向があると思うんですけども、その点、そういう対話を促すために、バランスがいいということとはとても大切なことと思います。そういう意味で東京書籍を1番に推したいというふうに思います。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 私も歴史はね、非常に難しい判断だなというふうに思っているんです。上辺から見た場合と下辺から見た場合、タイプは全く違うので。できるだけ右に寄らない、左に寄らない、こういうふうに言われている、できるだけ中立な状態で当たって出していくようになるということと、東書のあれだけの評価もかなり高いので、東京書籍と。

教 育 長) それでは、私から申し上げます。中学校教科用図書、歴史的な分野、これを採択するに当たっての考え方ということですけども、これからまさにグローバルで多様な、そういった文化の時代に子どもたちは生きていくようになります。そういうことを大前提としまして、まず1点目、歴史を何かの道具とするような考え方にならないように。結果的に独りよがりとか、井の中の蛙といったような、そういう狭い視野しか持てないような子どもたちはつくりたくない。

続いて2点目。文化的な多様性をきちっと受け入れられるように、文化的な包容力を保持できるように、というふうに思っています。文化に関しては、時間を超えて、空間を超えて、みんな違ってみんないいというふうな、そういう見方がもてるといいと私は思っています。

3点目、できるだけ多面的・複合的な要素から歴史の動きを捉えていくような考え方。歴史学的な見方とか、科学的な、歴史的思考の端緒になるように。別の言い方をすると、単一の要素、つまり何か歴史的な事象が起きたときに、単一の原因、単一の人物、そういった要素に還元したりするような、そういう極端な単純化に走らないことが大事。そういうふうにして歴史的な事象を捉えるようにしてもらいたい、そんなふうに思っています。

私は東書を推したいと思っています。今回見開き2ページ、ワンテーマの冒頭に学習課題があり、右下に追加課題があり、目的意識を持って本文をテーマ的に貫くというふうな構成になっております。これに單元ごとの振り返りも含め、構成が安定しております。学習課題には思考力・判断力の育成に向けた発展的な説明課題が多いと思います。それぞれに評価できますので、こういったものを総合的に見て東書を推したいと思います。歴史事象の時系列的な位置づけというのも総体的に分かりやすいというふうに思っております。

なお、これは東書に限ったことではありませんけれども、様々なポイントポイントで、子どもたちに見方・考え方、こういったものを促すような、キャラが発言する場面がいっぱいあるわけです。私個人としては古い人間かもしれないけれ

ども、できるだけ少なくしてもらいたい。あれがやたらうるさく感じられることがあります。単純な吹き出しや矢印追加で済む場合はそうしてもらいたい。わざわざアニメキャラにする必要はない。必要があるのかどうかということをどの出版社もちよっと厳密に考えていただけるとありがたい、そんなふうに思っております。

付帯的に述べますと、帝国書院もよかったと感じます。随所にタイムトラベルとか、「多面的・多角的に考えてみよう」というふうに名づけたページがありまして、その時代のイメージや特色を把握しやすいような工夫があります。また、各章末の「章の学習を振り返ろう」では、深い学びにいきなうような内容が掲示されています。使われている資料の掲載もダイナミックで魅力があります。ある意味では甲乙つけがたいというふう感じたところでありました。

なお、冒頭に3つないし4つの観点を述べましたので、特に個々について触れることはいたしませんけれども、古代史における歴史の系統的理解や、また近・現代史において、歴史上の主観的な意図とその結果が矛盾することが間々あったわけですが、そういったものについて複合的な、バランスのとれた記述が必要である、そういうことを感じたということをお伝えしておきたいと思っております。私からは以上です。

皆さんのご意見を総合してみますと、小峰委員が帝国、残り4名が東書を推すということでございますので、歴史についての教科書採択は東書にしたいと思っておりますけれども、ご異論ございませんでしょうか。

委員全員)
教育長)

異議なし。

では、東書にいたします。

続きまして、教科社会、種目公民について検討したいと思います。事務局の説明を求めます。大黒指導主事。

学校教育課指導主事)

公民についてご説明させていただきます。

東京書籍。1時間の学習で追求する学習課題が示されることで、生徒が見通しを持って主体的に学習を進めることができる。SDGsを取上げ、現代的な諸課題を理解して課題を解決しようとする流れになっている。

教育出版。1時間ごとに本時の学習内容の振り返りのための確認のコーナーを設けてあり、さらに学習内容を活用して発展した学習をするための表現のコーナーが設けられている。表現のコーナーでは見方・考え方を働かせる問題の掲載がある。

帝国書院。1年間の学習の見通しを持つことができるようになっている。各章ごとに、学習の前にこれから学習する内容を体感させるようにしている。

日本文教出版。学習の初めに漫画イラストを用いて、見方・考え方を身近な場面からイメージするようになっている。裁判員経験者へのアンケートなど、実社

会の人々の経験を聞く対話的な学びを紙面上で疑似体験ができるようになっている。

自由社。1時間ごとに学習課題が示されている。図や絵が非常に多い。本文より写真が多い。

育鵬社。巻頭にSDGsのページがある。他国との比較が多い。

人物の扱い方、世界的な課題等のバランスがよい2社から、第1候補、東京書籍、第2候補、帝国書院となっております。

以上です。

教 育 長) では、特にご質問がなければ、小峰委員からお願いします。

小 峰 委 員) 私は公民については、構成の仕方によって特徴的な主義主張を感じさせるようなことにもなりかねないので、歴史のときにも申し上げましたけども、やはり中立な人権意識とか、国際関係など、そういうものについての中立的な考え方をできるような授業が進められるものというふうに考えて教科書を見せていただきました。

帝国書院は「アクティブ公民」というページで自分の意見を説明したり、話し合い活動が充実されたりしているという点では大変いいなと思いましたけれども、教科書としての作り方は東京書籍に魅力を感じました。先ほど大黒指導主事に言っていたいただいた東京書籍の感想そのままなんですけれども、1時間で学ぶ内容が見通しがつきやすいということ、それから紙面作りというか、やっぱり教科書作りに大変たけている教科書だなというふうに思いました。

そういう点で、公民は東京書籍を推したいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 公民につきまして、東京書籍を推したいと思います。

冒頭から持続可能な社会をテーマに挙げ、後半でSDGsから社会問題につなげています。現代の課題の理解や解決方法の模索などを大きなテーマにしていることに共感を持ちました。また、18歳成人に向けた意識づけが「18歳へのステップ」としてまとめられておりまして、この教科書を使う子どもたちが18歳で成人になることへの意識づけに役立っているのではないかというふうに感じました。

民主主義と多数決の解決では、アイドルグループのセンター決め投票を例に出すなど、現代の子どもにとってなじみやすい内容もあります。ユニバーサルデザインに対応し、グラフの色づけなどは工夫されていますが、全体的に彩度が高く、少し目にうるさい紙面だと感じました。ですが、全体的なバランスから、私は東京書籍を推したいと思います。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私も東京書籍を1番に推したいと思っています。

やはり、課題意識というのは、もちろん学んでいく段取りとしてのステップみ

たいな、非常に重要ですけれども、公民について、その意識がそのとき目覚めるかどうか、かなり大事なことなので、いいテーマを選び、これからそれをよく考えなければいけない点をどう提示するかという点が大事です。そういう教科書全体の主題性というか、テーマというか、それがどれだけ出ているかは重要なことだと思います。そういうふうに思って全体を見たときには、やはり東京書籍の本の中に、そういう現代の意識というのが強く隅々まで際立っているように思えました。そういうことで、教師と生徒が対話的な学びを繰り返すことができれば、例えばSDGsなんていう言葉も自然に出てくるだろうし、一つ一つのイニシャルが意味することも、ただ頭で覚えるのではなく、体で感じる部分がある。そういう点で東京書籍をやはり1番に推したいと思います。以上です。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴木委員) 私も東京書籍。やっぱり歴史と公民というのは同じような感覚で、中立に物を考えなければいけないので、皆さんいろいろ意見あるんだろうと思いますけど、同じ出版会社がいいということで、東京書籍。

教 育 長) では、私から申し上げます。最初に、今回公民の採択に当たって考えたことということで、幾つかの視点で申し上げたいと思います。3つほどあります。

1つは、1つというか、大前提としては、先ほどの歴史と同じように、これから未来に向けて子どもたちはますます複雑で変化の激しい社会、ますます多様性に満ち満ちた文化の社会、ますます国際的な社会に生きていく。そういうことを踏まえて物を考えたいと思います。

まず1点目、立憲主義の根本的な性格を踏まえ、憲法上の国民主権や基本的人権などには近代的な、また普遍的な価値があるということについて、きちんと理解できるようにしたい。

2つ目、文化的な多様性をきちっと受け入れられるような、やはり文化的な包容力を保持できるようなものでありたい。人種、国籍、性別、年齢、宗教、文化、風習、こういったものについて、排他的・排他的にならないような考え方を身につけさせたいというふうに思います。

3点目、できるだけ多面的・複合的に物事を理解していくこと、認識していくことができるようにしたいと思います。科学的な思考の端緒となるように、やはり歴史と同じように。別の言い方をすれば、何かを単一の要素や原因に還元したり、極端な単純化に走ったりしない。単純に誰かが悪いというふうな、そういう見方にならないような教育をしたいというふうに思っております。

推薦するのは、やはり東京書籍でございます。見開き2ページ、ワンテーマの最初に学習課題が提供されています。歴史と同じように右下に追加課題等が置かれています。その間、本文は、文章、資料、イラスト、写真等が大変豊富で、その割にバランスよく、見やすく仕上がっております。効率と公正というふうな

小セッションをはじめとして、各章・節の導入などで中学生にとって身近なテーマや話題を数多く取り上げております。また、随所に置かれている、「みんなでチャレンジ」「公民にアクセス」といった箇所において、対話的な活動への促しが見られます。憲法上の平和主義に関わるような時事的な話題、人権については弱者の立場への配慮など、意欲的に取り上げております。総合的に見て評価したいと思います。

次に推すとすれば、やはり帝国書院かと思います。歴史的分野と同様に、各テーマにおいて学習課題を確認しよう、説明しようというような対応をしております。見方・考え方を働かせて学ぶことにつながっております。先ほど小峰委員もおっしゃられたように、アクティブ公民ですか、ああいうコーナーなどにおいては、新たな学びの仕方の提示などがございます。

冒頭に3つないし4つの観点を述べましたので、特に個別に触れることはいたしません。例えば立憲主義における統治権の制約や、基本的人権の尊重に関わる世界的な普遍性について、また、旧憲法、新憲法の制定経緯や、基本的な性格について、現在の話題で言えば、男女共同参画社会の実現等について、バランスの取れた記述が必要であると感じたところがあることを述べておきたいと思います。

一つ例をあげれば、法の支配と法治主義は違うわけです。法治主義というのは実定法でコントロールされていけばいいというだけの考え方ですから、本質的な法の支配と同じではない、そういったことが分かるというのと、そんなふうに思っています。

それでは皆様のご意見をまとめまして、今回に関しては東京書籍、全員一致でございますので、公民については東書の教科書を採択することとしたいと思います。

続きまして、数学に入ります。事務局の説明を求めます。大黒指導主事。

学校教育課指導主事)

数学についてご説明をさせていただきます。

まず、全体的な傾向についてです。章末問題等でつまづいたときに振り返る場所が分かるようになっている。巻末には教科横断的な内容も見られる。

次に各社の教科書についてです。

東京書籍。発展問題には学年を超えた問題がある。数学的な実験についての動画がある。

大日本図書。小学校とのつながりを意識している。巻末部分を切り取り、カードとして持ち、振り返ることができる。

教育出版。前の学年とのつながりを意識した構成となっている。実生活での場面を取り上げた問題を出し、理解しやすくなっている。

学校図書。教科横断的な内容、全学年の復習等の内容がある。数学で学んだ知

識をどのように活用していくのかが具体的に記載されている。

数研出版。教師と生徒との対話により、思考の流れが確認できる。段階に応じた問題A、Bがある。

啓林館。前から進めると一斉授業のような流れになり、後ろから進めると自学的な流れになる仕組みが取られている。巻末にある「学びのあしあと」により、どのように学んできたのかを振り返ることができる。

日本文教出版。自分の考えを言語化する問題が扱われている。

このようなことから、数学の不思議さや面白さが一番充実しているところから、第1候補は学校図書、分かりやすさ、使いやすさから、第2候補は啓林館となっております。

以上です。

教 育 長) 第2候補は啓林館だけですか。梶浦指導主事。

学校教育課指導主事) 東京書籍も第2候補に挙がっております。大変失礼いたしました。

教 育 長) ということで、学図、東書、啓林館、3つが候補に挙がったということ。特にご質問がなければ、また意見表明に移ります。小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 各出版社の教科書、どれも個性的…個性が表れているなということを感じました。後ろの付録ページとってよいのでしょうか、ついているものなども特徴的でした。これも大黒指導主事から言っていただきましたけど、つまずきに対しての振り返り、これをどのような手だてでもう一度学習し直したらいいかというようなところも、それぞれの教科書についている。また、ノートの扱い方も各社きちんと取り上げていた点は大変好ましいなと思いました。

その中で私は啓林館を推したいと思います。これも大黒指導主事の説明の中にもありましたけど、「みんなで学ぼう」編と、それから「自分から学ぼう」編と、一斉授業に対する、それから自主的な学習に取り組めるような、そういう構成になっているのは大変ユニークだと思いました。

それから、もう一つ、啓林館は1年生からプログラミングを活用した内容が載っている、あるいは表計算ソフトも使ってみようというようなところもあるし、2年、3年についても同じようなところがあるというところも、これからの子どもにとっては面白い教科書ではないかなと思いました。他社の教科書、私が見落としているのかもしれませんが、3年生になってから表計算を使って乱数表を作ってみるというようなことは取り上げられていたんですけども、1年生からある啓林館の取組はいいなと思いました。ただ、内容的にはほかと比べてやや難しい、内容がちょっと多過ぎるかなというような気もしたのですが、先ほど大黒指導主事が第2候補に挙がった啓林館も使いやすさという点から評価されたということだったので、私の思い過ぎしかなとは思いますが、その難しさがあるかなという点を少し心配しつつ、一応啓林館を推したいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私は東京書籍を推したいと思います。

非常にすっきりしたデザインで、空間が広く取られております。頭の中で考えることが多い数学には適した紙面だと感じました。イラストを多く使っていても邪魔にはならず、特に1年生は例が分かりやすいです。数字とアルファベットの判読性が高いフォントを使っていることも評価できます。全体的に彩度の低い色使いのため、目が疲れにくいのではないかと思います。索引に図や式が入っていることも分かりやすく、工夫されている点だと思います。以上です。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私は学校図書を推したいと思いますが、それはやっぱり教科横断的なこと、様々な応用・活用を促すような教科書の姿勢がうかがえる。私自身にとっては、実は建築デザインなどのイメージも使われていて、数学というものは当然応用されていけば建築やデザインになるということを感じさせてくれる教科書である。そうすると、数学が苦手という子も、やっぱり数字だけを見ていると何だか物を感じなくなってしまうようなタイプの生徒もおります。私自身もそうでした。そういうときにそれが建築に応用されるところという空間が生まれるのではないかと、何かそういうメッセージが伝わってくるようなビジュアルを選んでいる、そういう点も魅力であると思いました。それで私は学校図書を推したいと思います。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 数学はね、中学ではかなり難しくなるということがポイントになっているんですけど、全体で見ても、子どもたちが使いやすいというのが重要で、啓林館が高い評価を受けているんですね。子どもたちが使いやすくないと、なかなか数学は、ついていくのは大変だろうというふうに思いますので、啓林館。

教 育 長) では、私から申し上げます。

私も啓林館を推したいと思います。啓林館は対話的な学びを活用しようという努力がよく分かります。広げよう、話し合おう、説明しようが多く設定されていて、数学的な表現を通して理解を深めたり、表現力を伸ばしたりしていくことを狙っているかと思います。また、巻末には「自分から学ぼう」編が体裁を変えてつけられておりまして、あえて言えば、事実上の2分冊に近い構成かと思います。その部分につきましては、発展的な学習にも対応しやすいように感じました。さらに、数学と社会生活との関わりにも注意が払われていたかと思います。

なおですね、小峰委員もおっしゃられたことなんですけれども、発展的な学習ということに関しては、やっぱり考え方が問われますよね。どの科目もそうかもしれませんが、とりわけ数学に関しては、理解の遅い子と、理解が進んじゃう子との差が大きくなりやすい科目かと思います。したがって、理解が遅い子に対する配慮も必要ですけれども、一方で、速く進んでしまう子に対して教員は

何をするのか、授業で何をするのかということも大きな課題だと思っています。そういう子に対する目配りを、やっぱり一方で落としちゃいけない。理解が速いからほっといていいというものでもないので、そういう子に対する配慮もできるといいなということを一方で感じます。理解の遅い子に対する配慮を欠かしていないという意味ではありません。それは丁寧に教員が授業でやるべきでありますけれども、もう一方で、そういったことができるといいなということも考えて、発展的な学習にも対応しやすいという言葉を使わせていただきました。啓林館を推します。

東書もすごくいいなと思うところがありました。例えば、「1年ゼロ章」というような表記をあえてしていますよね。これは小・中の接続への配慮が大きいなと。また、つけたい力との関連で、これは目当てというような言葉を使って、学習課題が非常に明確であるのも好ましいところかと思えます。身近な事象から入って数学的な関連を考える問いかけや、最初に出てきた例ですが、1年の三脚の安定というのはまず面白いなと思いましたがけれども、こういった事柄や、主体的な問題解決の充実につながるような工夫がありまして、見るべきものが多かったということも補足しておきます。

では、皆さん方のご意見を集約したいと思えます。啓林館を推す者が3名、東書を推す者が1名、学校図書を推す者が1名ということでよろしゅうございますか。では、これらを総合しますと、数学につきましては啓林館を教科書として採択することになるかと思えます。ご異議ございませんでしょうか。

委員全員)

異議なし。

教育長)

では、そのようにお願いいたします。

学校教育課指導主事)

続きまして、理科に参ります。事務局の説明を求めます。松本指導主事。

理科についてご説明をさせていただきます。

全体的傾向としまして、どの教科書もSDGsへの対応やユニバーサルデザイン、小学校からの接続、他教科との横断的な関わり等が工夫されており、大きな差異はございません。サイズについては、東京書籍は縦長、大日本図書は小さく軽量、手触りの違い等も感じられます。

附属教材等については、学校図書はホワイトボードがついている。教育出版は生物カードがついています。神奈川県の上浦や横須賀の地層が多く紹介されているのは啓林館です。

理科を通しての言語力育成の視点、終わりに探求活動が設定されていることなどから、第1候補は大日本図書、第2候補は、QRコードなど視覚的な面の充実から啓林館となっています。

以上です。

教育長)

何かご質問はございませんか。松本指導主事は理科が専門でしたか。

学校教育課指導主事)

はい。

教 育 長)

では、小峰委員からお願いします。

小 峰 委 員)

5社を比較して、学習の入り方は、もうそれぞれ単元によって、ここだったら、この会社がいいなというように、生徒の問題意識を上手に取り入れている箇所が違うというかな、それぞれだなという感じがあったので、それだけで決め手になる教科書はありませんでした。

それから、私も書くことを大事にしたいと思っていますので、レポートの書き方などもそれぞれの教科書会社も丁寧に扱っている点はよいと思いました。

印象から言いますと、学校図書、教科書として落ち着いた紙面なんだけど、反対に言えばちょっとインパクトが薄いかなという感じと、気になったのは、最初のページに、この教科書の特徴、これからの学習の進め方を説明するところで「理科のトリセツ」という言葉が使われています。取扱説明書という意味の「トリセツ」は、今で言えばもう市民権を得ている言葉なのかもしれないですけども、教科書の中に「トリセツ」という言葉が出てくるのに、ちょっと違和感というか、問題意識を持ちました。

そうしたことも入れて、私はこの中で大日本図書か啓林館に絞りました。大日本図書はこれまで学習したことが単元の前であって、小学校のつながりを確認できる点、それから単元末の問題の中に読解力問題というのがあるのが、それが今求められているものの一つかなと思いました。ただ、この読解力問題だけで読解力を深めていくような学習になるかどうかは別なんですけども、先生方にそういうものを意識していただくという点では、理科の中に読解力問題とあるのはいいことだなというふうに思いました。

もう一方、啓林館は実験するに当たって仮説というのを大事に扱って、必ず入れてあるというところが私は探求のステップとして身につけさせたいものだなと思っていますので、その仮説に魅力を感じました。それから、学習のまとめが丁寧。力試しのページが多いというのは中学生としては有効なのかなというふうに思いました。それらを改めて検討して、私はやっぱり大日本図書が学習の流れとしては大変スムーズに進められているところが多いかなというふうに思いました。私の中では大日本図書と啓林館と、せめぎ合っているんですけども、今まで使われているというところもありますし、学習…探求の流れとか実験とかいろいろなことを考えて、大日本図書がちょっと、差をつけているかなというふうに思います。話がごちゃごちゃして申し訳ありません。大日本図書を推します。

教 育 長)

要するに…。

小 峰 委 員)

大日本図書です。ごめんなさい。

教 育 長)

分かりました。下位委員、お願いします。

下 位 委 員)

私も大日本図書を推したいと思います。

これまでに学習したこと、これから学習することの表記が章ごとにありまして、振り返りから新しい学習につなげられるような構成が優れていると感じました。探求活動というページでは、各単元に関連した課題を生徒が興味を持つ等の内容にまとめてあり、理科という教科ならではの楽しみ方を提案していると思います。「プロフェッショナル」というページがあり、学習したことと職業の関連を解説し、キャリア教育にも役立つと思います。理科という教科の特性もありますが、QRコードから動画のコンテンツが充実していること、コロナ禍で理科の実験ができないような場合であっても、動画を見ることで仮想的に実験に参加することができるのかもしれませんが。

啓林館もプロフェッショナルやQRコードというコンテンツはございますが、全体的に見まして、私のは大日本図書を推薦したいと思います。以上です。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私は東京書籍を選びました。

大日本図書も皆様ご説明のとおり、優れていて、情報も豊富で、QRコードも使いやすい教科書であると思いましたが、東京書籍の判型の縦長の組み立てというのはやはりとても魅力的でした。あれを手にして実験をしたりしたときに、やはり、考える、感じる要素が、可能性としてより多い。教科書としての紙面作りについて、見やすい、分かりやすい、コメントも豊富である、そういう点から私は東京書籍を1番を選びました。以上です。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 大日本図書。内容が分かりやすいんじゃないかと3年間を通じて使いやすいことを評価したい。高い効果が出ている。ですから、私は大日本図書。

教 育 長) 私から申し上げます。

私も大日本図書を推したいと思います。観察や実験を重視した理科らしいオーソドックスな教科書だというふうに思いました。作りもすっきりしていて大変見やすいです。観察・実験については、大きな写真で、大変理解しやすくしてあると思います。単元の初めに、これまで学習したこと、これから学習することの記述がありまして、知識の関連づけにも注意を払っています。単元末には、これは小峰委員も強調されましたけれども、読解問題が意識的に設置されています。理科における読解力と文章問題というテーマを強く意識している作りになっております。これについてはやはり、あえて意識的につくって、先生方にそういうことが必要だということをアピールする意味はすごくあるというふうに思います。別の言い方をすると、観察、実験、理論、そういうことで終わりにしないで、ちゃんと文章を読み解くみたいなことも、それこそ汎用的な力の育成ということに関連して、理科でやってもらいたいなというふうに思っております。「暮らしの中の理科」「科学のあしあと」などのコーナーを使って興味を広げ、生活や社会

につなげることに努力している教科書かと思えます。

東書については、どの種目についても共通して言えますけれども、学習の系統性についての配慮、単元初めの問題提示から、単元末の整理と振り返りまで、構成がしっかりしています。卑近な例かもしれませんが、例えば2学年にあって、冒頭かなり初めのところに携帯用カイロの発明のような話題がさりげなく入っています。そういったことを含めて、身近な話題に引きつけようとする工夫も随所にあったかと思っております。

結論から言いまして、大日本を推します。

全体を総括しますと、大日本を推す者が4名、東書を推す者が1名でございますので、理科の教科書については大日本図書を採択したいと思えます。ご異存ございませんでしょうか。

委員全員) 異議なし。

教育長) では、大日本を採択いたします。

それではですね、既に会議開始後、2時間弱経過しておりますので、ここで10分弱の休憩にしたいと思います。あの時計で10分。休憩にします。では、お願いします。

(休 憩)

(再 開)

教育長) では再開いたします。

続いて、音楽(一般)について始めたいと思えます。事務局の説明を求めます。梶浦指導主事。

学校教育課指導主事) では、音楽(一般)について説明をさせていただきます。

全体的な傾向として、2つの教科書が甲乙つけがたしという見解でした。伝統芸能に関する内容の配置は二社で違っています。図表の扱いや、現行の教科書の学習内容から、重複感なく移行できるというところで、第1候補が教芸、第2候補が教出となっております。以上です。

教育長) では、ご質問がなければ意見をお願いします。小峰委員、お願いします。

小峰委員) 音楽も2社だけなので、どちらか選ぶということになりますから、直接申し上げると、教育芸術社を推したいと思えます。

小学校のときも、やはり2社だったと思うんですけれども、教育芸術社はちょっとレベルが高い内容かなということで、小学校の場合は音楽専科だけではなくて、担任の先生が教えるという点で、教育出版が採用されたかと思えました。中学校は音楽の先生なので、専門性も重視して、といっても私には専門性のレベルはわかりませんが、内容的に難しさがあるかどうか

などという、そういうことを心配せずに選びました。

私は、表紙すぐ裏のところ、導入のページになるんでしょうか、芸術家とか音楽家の写真とコメントが載っている、1年生だと野村萬斎さん、2・3年生では松任谷由美さん、そういう方が載っているものは、子どもたちにとって、これからやる音楽に大変興味が引きつけられるのではないかなということ、まず評価できると思います。

それと、1年生から指揮を経験させるという点も、私はいいことではないかなと思います。指揮って本当に難しいんですけども、体を使った表現を子どもたちに経験させる、そういうような技術的なものも積極的に指導しようとしている姿勢が見られるということで、教育芸術社の教科書を推薦いたします。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私も教育芸術社を推したいと思います。「マイメロディー」という表現方法がありまして、これは視覚的にわかりやすく、楽譜が苦手な生徒でも理解しやすいと思いました。あと、生徒が知っている現代の音楽家が登場することで、関心を持たせる工夫がされていると思います。日本の伝統音楽に関する記述がしっかりしており、3年間にわたって音楽文化を学べるというのも評価できます。

音楽の授業では、デジタルコンテンツ、これは音楽や映像に関してですが、これが活用しやすいはずですので、附属資料にも興味があります。

今、コロナ禍において、歌や楽器の授業が難しいと聞いております。これらを解決するヒントは今の教科書にはありませんが、今後の課題として教科書会社の見解も聞いておきたいなと感じました。以上です。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 教育芸術社を推したいと思います。教育出版との比較において、大きな差があるという認識はありません。ただ、やはり教育芸術出版のほうが、音楽文化の多様性あるいはマイノリティーと思われるようなものに対する配慮も、より行き届いているということは、教えるときにそのものを事例として示せば、初めて聞くようなものとか初めて知ることが、この教科書を通じて音楽文化が多様で複雑で、世界中に様々あるということを知るきっかけになるだろうと思えるのです。それがあ、なしは、結構教科書としては重要なことだろうと思います。それで、わずかな差けれども、教育芸術社のほうを推したいと思います。以上です。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴木委員) 私も皆さんと一緒に、どちらを採用してもいいんじゃないかなというふう
に思っています。ただ、教育のほうのデータを見ると、創造力を養うという
ことについては、教育芸術社のほうがレベルが高いので、教育芸術社。

教 育 長) では、私から申し上げます。私も教育芸術社を推したいと思います。下位
委員が今おっしゃられたことと、ほとんど同じなんですけれども、教芸につ
いては、目次の次に、この教科書で学習する内容を、観点別にどのような音
楽の力をつけたいのかということに即して、教材ごとに図示しているのは大
変わかりやすい。また、生徒がリズムや旋律を作るなどの創作活動を行う際
の手順が丁寧に示されていると思います。教材に即した目当てや、ちょっと
したサポート囲みというか、そういうのも明快だと思います。

拝見していて面白かったのは、マイボイスの話があった後に、変声期の話
が出てきたんですね。それからリズムゲームの扱い方、これも面白かった。
というところもあって、今回は教芸にしました。本当に差がないように思う
んですけれども、片や教育出版のほうもやはり目次の次に、この教科書で学
習する内容を、歌う、つくる、聞くの3つに整理していて、子どもの目線
での学びの見通しに配慮している。いろいろと、新学習指導要領の考え方をし
っかり受け継いで整理したのかと思いました。各教材の目標もわかりやすい
と思います。教育出版に関して言うと、紙面構成とか配色、こういったもの
に関しても落ち着きがあって、非常によかったと感じたところでもあります。

というわけで、差がないところでもありますけれども、引き続きの流れとい
うようなこともありますので、教育芸術社を推したいと思いました。

以上まとめまして、全ての方が教育芸術社を推しておりますので、音楽
(一般)の教科書は教芸になろうかと思います。よろしゅうございますか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) では、教芸の教科書を採択いたします。

続きまして、音楽(器楽演奏)について、事務局の説明を求めます。梶浦
指導主事。

学校教育課指導主事) 続けて器楽について御説明をさせていただきます。

まず、2社ともに取り扱っている教材については、リコーダー、ギター、
和楽器で共通しています。リコーダーの運指について、写真の扱い等表示の
仕方が異なっております。色の配色につきましては、教育出版がモノクロ傾
向、教育芸術社は色覚的に派手となっております。

一般と器楽は同じ会社がよいであろうということ、また一般の教科書と同様に、内容の配列等から、第1候補が教育芸術社、第2候補が教育出版となっております。以上です。

教 育 長) では、早速ですが、小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 今、梶浦指導主事が説明して下さったことと重なる理由での出版社で推したいと思います。やはり音楽（一般）に続いて教育芸術社、技術的な説明が丁寧かなど。感覚的に感じたところもありますが、教育芸術社を推したいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私も教育芸術社を推したいと思います。楽器や演奏の方法の説明が大きな写真で、分かりやすかったです。楽曲の選択がユニークな場所があり、生徒の興味を引くことができると思いました。また、この教科に関しては、皆さんもおっしゃるとおりですが、音楽（一般）と同じ出版社を選ぶべきではないかなと思います。その理由からも教育芸術社を推したいと思います。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私も教育芸術社です。一般と楽器というのは、やはり合わせるべきだという考えは私も一緒です。学研についても多様性ということをはっきり意識しているように感じます。ただ、教育芸術者のほうが、図版が非常に見やすく、具体的には例えば打楽器の例なんか、はるかに分かりやすく多様性が示されています。そういう点も、今の子どもたちは恐らく様々なコンテンツをネットなどで知っているから、楽器の多様性にはより身近に感じ反応するだろうと思うので、なるべくビジュアル的に優れた教育芸術社のほうを推したいと思います。以上です。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 私も水沢委員と一緒にですね、一般と楽器というのは同じ、考え方が同じ会社がよいということが1つと、生徒が使いやすい工夫という部分については、教育芸術社。

教 育 長) では私から申し上げます。私も教育芸術社を推します。これもどちらをとってもリコーダー、ギター、伝統楽器の基礎的な知識とか奏法とか、写真を使って大変大きく、見やすく表現されています。表現活動自体に関する工夫も見られるかと思えます。レイアウトも、全体としてどちらもすっきり、見やすく、大差がございません。

本当に、結論から言えば、写真が少し見やすいかと。演奏のときの口元と

か手元とか、そういった配慮でも、写真は大きく見やすいほうが良いということがあったかと思います。簡単に言えば、音楽（一般）に合わせて教芸を推したいということになるかと思います。

あとですね、こんな場では恐縮ですけれども、音楽の教科書2つ合わせてクイーンとか、レッドツェッペリンとか、かつて私が中・高校生のころには不良扱いされかねなかったようなものが載る時代になったかなと、改めて思います。ただの感慨です。

委員さん方の意見をまとめますと、音楽（器楽）につきましても、全員が教育芸術社を推すということになります。教科書も教芸を採択することによってよろしゅうございましょうか。

委員 全員)

異議なし。

教 育 長)

では、ご異議なしということで、そのようにさせていただきます。

続きまして、美術について事務局の説明をお願いします。大黒指導主事。

学校教育課指導主事)

美術について説明をさせていただきます。

開隆堂。小学校の図工から中学校の美術への切り替わりを大切にしている。鑑賞が豊富。日本の伝統文化を身近に感じられる。題材ごとに観点に分けて評価できるなど、指導と評価の一体化の実践に配慮されている。

日本文教出版。子どもたちになじみやすいアニメを使うなど、子どもたちと美術の距離を近づけている。写真が大きく見やすいなど、教科書で本物を味わうことができる。

光村図書。生徒が撮影した写真や、生徒の美意識を紹介するなど、同じ目線で見ることにより、美術への親近感が湧く仕組みになっている。部分部分で本物を感じるよう、和紙や模写用紙を挿入している。

このようなことから、本物に触れるという意味で、第1候補を日本文教出版、子どもの作品が多く掲載されている光村図書が第2候補となっております。以上です。

教 育 長)

ご質問ありますか。よろしいですか。では、小峰委員からお願いします。

小 峰 委 員)

私、中学校の学校視察に参加をさせていただいたときに、美術の授業も何度か見せていただきましたけど、指導される先生方は、教科書に載っている題材で授業を進めていることが少なかったように思うので、私はむしろ3社の教科書が常に子どもたちのそばにあると、創作の参考になるのかなというぐらいに教科書の役割を思っていました。

そういう意味で言うと、本当はどこの教科書を採択されても、それぞれ子

どもたちにとっては有益なのかなと思いましたが、指導主事のお話にもありましたけど、生徒の作品の写真が多く出ているというところでは、光村図書が参考になるのかなと思いました。生徒の作品も含めて、掲載されている写真が私は美しいと感じましたし、いろいろ織り込まれている写真等も、インパクトのあるものもあって、私の個人から言うと、光村図書の教科書が大変美しい教科書という感じがいたしました。

それぞれの特徴があるので、絶対に光村というところまで、強く押せない気持ちがまだ残っているんですけども、1社に絞らなければいけないので、私は鑑賞用に優れた教科書という感じがしますので、光村図書で。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 3社とも大きく優れている、劣っているということはありませんでしたが、私は日本文教出版を推したいと思います。学年ごとの題材が明確に分かれており、目標がはっきりと示されていると感じました。ページデザインが工夫されていて、単元の構成が分かりやすかったことも評価できます。一部のページで、高詳細印刷や特色を使っており、北斎ブルーがきちんと表現されていることや、175線の印刷では表現できないような細かいディテールが見てとれることが優れていました。QRコードによる参考資料の内容も充実しています。

光村図書は、有名作品の解説や、鑑賞より実習を主コンテンツとしていることや、折込みページが多く、B4変形版以上の迫力あるページが多い点が優れていましたが、総合的に見て日本文教出版を選択させていただきました。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私は開隆堂を1番に選びたいというふうに思いました。それはまず1つ、作品というか、造形表現の選び方の中に、かなり立体的・空間的な表現に対する配慮が強くあると思いました。はっきり言えば、彫刻の例が非常に多く選ばれているということが優れている点だと思っています。

そしてさらに言うと、彫刻も過去の有名な彫刻ではなくて、今まさに、この数年、現代作家が作った彫刻を選んでいる。そういう点では、かなり大胆な作品をセレクションしている。そこに教科書作りの意欲をすごく感じられ現在まさに生まれている作品へと生徒たちを導いていると思えるのです。若干クリエーションというか、創造活動に関しては、そういう評価がすでに安定して、みんなが理解し、鑑賞しやすいものだけではなく、先生自身もちょっと感ってもいいというと、言い過ぎなのですが、受け止めたショックのよ

うなものを生徒と一緒に共有して、なぜこれが感動を呼ぶのか、あるいは呼ばないのかというのを、主体的にやはり深く学ぶという、きっかけを与えてくれる教科書は、ややセレクションを偏りがあるという意見もあるかもしれないけど、その部分を挑戦しているという点で、開隆堂を1番に選びました。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴木委員) 私も、評価の点で非常に高いことがわかるんですけど、ここはね、せっかく水沢委員がいらっしゃるのでね、美術の専門なので、考え方をひとつ尊重したいということで、私は開隆堂で。

教 育 長) 私から申し上げます。結論から申し上げますと、光村出版を推したいと思います。大専門家の水沢委員の話を聞いた後で申し上げるのは、非常に言いづらいところもありますけれども、ひょっとしたら好みの問題かもしれません。光村は、とにかくまず表紙写真のインパクトからしてすごいですね。圧倒的にいいなというふうに、まず思いました。その上で、掲載作品の写真とかレイアウトとか、とにかく見た目がきれいな教科書だなというふうに感じます。

内容的なことを言いますと、表現と鑑賞が一体的に学べるように、題材ごとに両方の目標が示されています。個別的には、「お弁当だって立派なデザイン」が面白かったです。そういった興味を引くような、日常生活に即したデザインみたいなものについての目配りもあります。

また、生徒の作品も数多く掲載されておりまして、それには作者の言葉ということで、生徒自身の言葉があります。また、一部の作品には生徒の制作過程が詳しく紹介されているようなこともありまして、大変好ましく感じました。全体として、やはりバランスがいいという点で、光村を推したいと思います。

開隆堂についても、レイアウトがきれいで、見やすいなというふうに思いましたし、学習を助ける写真が多いなというふうにも思いました。学習目標として、知識、技能、思考、判断、表現、学びに向かう力というようなことが示されていますけれども、そういうことの表示が小さいんですね。そこをもう少し工夫されてもよかったかなと思いつつ見たところです。

さて、皆さんの意見を振り返ってみますと、光村が2名、開隆堂が2名、日文が1名ということになりました。ということなので、冒頭に決定方法について皆さんにお諮りした時の2対2対1になった場合というふうに考えさせていただきます。その場合の取扱いは、2票が入った2社を、ここで改め

て候補として設定し直し、その2社についての、いわば決選投票のような形で決めたい、このようになります。ですので、光村と開隆堂に絞って、改めてお考えいただき意見を頂戴したいと思います。下位委員には若干プレッシャーがかかっちゃうのかなというふうにも思いますけれども、改めて皆さんの意見を聞いていきます。特になければ、同じでも構いません。小峰委員から改めてお願いします。

小峰委員) 水沢委員のお話を伺って、開隆堂はそういう見方をできる教科書なんだなと思うと、心が動くんですけど、どうでしょう。

水沢委員の専門性の高い説得力が頭から離れないところもありますが、美術の教科書の美しさ、写真としての美しさに魅力を感じてしまうので、光村図書のよさが際立つかなと思います。迷いますが光村図書をそのまま推していきます。

教育長) 下位委員、お願いします。

下位委員) 美術の教科書はどうしても海外の絵画作品に偏りがちなイメージがありました。そんな中、立体的・空間的な彫刻が結構取り上げられているということに気づきました。また、現代作家の作品が多く取り上げられているということについても分かりました。それがいいか悪いかという判断が私はつかなかったのですが、専門家の水沢委員がそこに注目されているということであり、それであれば、私も開隆堂のほうに入れさせていただきたいと思います。

教育長) 水沢委員、いかがですか。

水沢委員) 特に先ほどの発言に補足するところはありません。ただ、光村図書も大変美しい図版であるし、教科書として使いやすいだろうということは間違いのない。ただ、選んでいる作品は、どちらかというと二次元的な表現の美しさというものに、関心を絞っている。それがひとつ狭さを作らないかなというのは一抹の不安です。

教育長) 鈴木委員、いかがですか。

鈴木委員) 私、お話を聞いている限りで、教育長と小峰委員は教員歴が非常に長いということで、教師の目線から見ると多分、光村のほうだと。教師として扱いやすいんだろうと思うんですよ。ただ、せっかく、水沢委員も近代美術館の館長でいらっしゃるわけですから、ここは思い切って変えても、私は教員に大きな負担がかかることはないんじゃないかなと、美術の場合はね。やっぱり、ここは思い切って変えたほうが、教師にとっても逆にいいんじゃないかなと。私はやっぱり開隆堂でいきます。

教 育 長) 私も思い切って変えるのも、すごく面白いというふうに思います。当然引かれるものはあるんですけども、一方で、教育長としてという大げさだけれど、採択検討委員会の候補に光村のほうが挙がっているということもありますので、そういったものを尊重したいという気持ちも含めて、やはり光村に手を挙げたいと思います。

全体を総括します。結果的に開隆堂が3人、光村が2人ということになりました。したがって、美術の教科書については開隆堂を採択するということがよろしいでしょうか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) ご異論がなければ、開隆堂の教科書を採択いたします。

続きまして、保健体育について、事務局の説明を求めます。松本指導主事。

学校教育課指導主事) 保健体育についてご説明をさせていただきます。

東京書籍。主体的・対話的で、深い学びの実現に向け、1、見つける、2、学習課題、3、課題の解決、4、広げるの4つのステップでキーワードが設定されています。他教科との横断学習ができる構成になっています。

学研教育みらい。主体的・対話的で深い学びを意識し、冒頭に学習の目標が示され、「課題をつかむ」で本時の学習内容を把握し、「考える・調べる」の場面で対話的な学習を実践し、「まとめる・深める」の場面で自身の生活実践につなげていく手段をとっています。

大日本図書。教科書の右側ページでは教科書の説明、左側のページでは資料というつくりになっていること。学習のねらい、本時の目標がわかりやすく書かれていることが特徴です。応急処置では、見開きページの構成で、細かく心肺蘇生法の手順が記載されています。

大修館書店。本時の授業の課題をつかむこと、何を学ぶかや、今日の学習で大切な箇所などがわかりやすい構成です。学んだ学習を掘り下げること意識されています。

項立ての分かりやすさ、現在の課題を扱っていることから、第1候補、東京書籍、見方・考え方のわかりやすさから、第2候補、学研教育みらいとなっています。以上です。

教 育 長) では、各委員のご意見を伺ってまいります。小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) これもそれぞれいいところが見られましたので、まずそのお話をさせていただきます。

東京書籍については、性の多様性というのを扱っているところは、ほかに

はなかったと思いますので、それは評価できると思いました。

それから、大日本図書は心肺蘇生法が見開き、折り込みがあって、3ページにわたって、丁寧にやっているのも、今、子どもたちが知っておくべきことということで、大変価値のあるページだなと思いました。

大修館書店は、大変細かいことですが、咳エチケット、咳をしてマスクがなければ、肘のところで咳を押さえるようにというのも、今、子どもたちに知っておいてほしいことですし、そういう辺の細やかさのあるところも、よかったと思いますが、最終的に私が推したいのは、学習研究社です。

どの教科書も学習の目当てがあって、それについての課題を見つけて進めていくというところは同じなんですけれども、学研のところでは最後のほうの章のまとめの少し手前のところに「探求しようよ」という新たな学習課題を見つけて取り組むというページがあるのが、中学生として自分の体やスポーツに取り組むときの新たな問題を見つけられる、という視点を持てる教科書で、いい項立てができている学研を推したいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私は学研を推したいと思います。かなり横幅の広いA B判ということで、1ページの情報量が多く、ブロックレイアウトでウェブページのような構成になっていました。性とインターネットの記載は、どの会社にも見られますが、自撮り被害と性の関連など、より踏み込んだ内容になっていました。道徳、技術などにも情報リテラシーの単元がありますが、保体ならではの視点であり、間違いなく必要な情報だと思います。「探求しよう」の内容がよくできていて、章のまとめとして機能しているように感じました。

以上の理由から、私は学研を推薦いたします。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) かなり判断に迷いました。どこにしようかなと思ったときに、保健という教科の一番大事なポイントは、自分の体を正確に認識する勉強を重ねていくことだということが大変ではないかと思うようになりました。その自分の体のこと、他人の体のこと、病気のこと、感染症などに注意する。性の同一性など、複雑な多様性もあることを知る。身体とは何かということをし、しっかり伝えるメッセージというふうに思って、各教科書を比較してみました。

そのときに、最後についている体の解剖図とか、そういうヴィジュアルも含めて、明確に体というものが大事な主題というふうに明確に浮かび上がる教科書は学研だと思えたのです。そういう意識で見ると、感染症などについて

でも、きちんと言及をされているから、今後のそういう感染症対策などについても、自分の体から発想していくというような意識を自覚させるという点を重視してを、この教科書は編集されていると思い、学研を一番に推したいと思います。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴木委員) 調査結果を見ると、学研のほうに相当評価は高いんですけど、全体的に見たときに、学研のほうに上になるんじゃないかなと思っていますので、それで学研です。

教 育 長) 私から申し上げます。私は東京書籍を推したいと思います。

自分が長年社会科の教員をやってきたということもあるのかもしれませんが、社会的な題材、日常的な題材から多くを拾い、またそこにつながっていくような教科のあり方を、保健体育に限らずかもしれませんが、求めたいなと思っています。

そういう点で見えていきますと、東書は全体的に地域や社会にかかわる今日的な課題、例えば性の多様性とか、共生社会とか、SDGsの話、放射能等の風評被害、また情報モラルに関わるような記事というのが、コラムとか、巻末資料にバランスよく与えられていると思います。ストレスへの対応とコミュニケーションというようなところも、大変分かりやすく扱われていると思います。学習課題から「広げる」までの流れの中で、主体的な問題解決をしっかりと図るよう促しているところも含めまして、私は東書を推したい。

ただ、皆さん方からお話がありましたように、学研のいいところも多々あるかと思っています。「もっと広げる、深める」というようなところで、保健体育的な考え方、見方というものに近づこうとしているところは、よかったと思っていますところでもあります。結論から言うと東書です。

皆さん方のご意見を総括しますと、学研4名、東書1名ということになります。したがって、保健体育の教科書としては学研にしたいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) では、そのように決定いたします。

では、続きまして技術について、事務局の説明をお願いします。梶浦指導主事。

学校教育課指導主事) では、技術について説明をさせていただきます。

東京書籍。見開き2ページで授業1時間を終えることができるようになって

ている。導入、展開、まとめという流れになっている。

教育図書。ワークシートと別冊ノートブックがついている。導入、展開、振り返りという流れになっている。

開隆堂。写真が非常に多く、文章が少なめとなっている。実際に働いている人のコラムの紹介が多い。

用語が整理されていることから、第1候補、東京書籍、写真や説明が充実しているところで、教育図書が第2候補となりました。以上です。

教 育 長) ご質問がなければ、ご意見を承りたいと思います。小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 今回から技術の教科書の技術分野の中にプログラミングが取り入れられているんですけど、まだ私の中にはどのレベルで取扱ってもらえれば、指導に役に立つのか、指導の際に求められるのかということが、よくわからず、勉強不足のまま教科書を見せていただいたので、ややプログラミングのほうは目をつぶるという言い方はおかしいですけれども、その点の教科書会社の扱いの差を、とりあえず置いておくことにしました。

東京書籍が、どの教科でもそうなんですが、教科書の作り方が上手だということ、見開き2ページで1時間の授業が終えられるようになってきているという点が評価でき、導入から展開、まとめまでの構成が、全体的に上手に作られているなと思いました。

教育図書には、別冊がついているというのが魅力的だし、役に立つなどは思いました。東書にはワークシートの例が掲載されていたのですが、私としては、あまりワークシートそのものは好きにはなれないんですけれども、技術の指導の際には大変役に立ち、子どもたちにとって見通しがついていいかなと思いました。

総合して、教科書の作り方のうまさで、東京書籍を推したいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 技術に関しましては、教育図書を推したいと思います。單元ごとに、見つける、学ぶ、振り返るが構成されており、学びやすく、分かりやすくなっていると感じました。実習の作業手順が明確であり、写真付きで分かりやすく解説されています。作業全体を見渡すことができ、各工程が一目で分かるため、自分で振り返りをする際にも活用できるのではないかなと思いました。

情報の技術ですが、こちらで扱う内容というのは目に見えないため、一般的に難解であると思います。この教科書では、写真やイラストを使って、う

まく説明している部分に感心しました。ビット数の考え方や、単位の説明が分かりやすく、プログラミングの学習の最初につまずく者が多い、コンピュータ特有のビットとバイトの考え方が詳しく解説されている点も評価できます。情報モラルやセキュリティーについての解説は、個人的にはもっとページを割いてほしいと思うところですが、パスワードの扱い方や写真データの見方にも触れられており、ポイントは押さえられていると思いました。

プログラミングの授業ですが、プログラミングができるようになることが大切なのではなく、論理的思考を身につけることが目的であるというふうに思います。スクラッチだけではなく、なでしこというプログラミング言語を使うことで、より論理的思考を育てることができると思います。スクラッチはグラフィカルでなでしこは日本語を使ってプログラミング記述となりますので、将来的に英語を使ったプログラミングへのステップアップには適当ではないかと思います。

また、コンテンツの設計という単元がございましたが、こちらの学習では進め方が実践的であり、実際の開発現場での考え方に近いものとなっていました。全体的に文字による情報量が少なめで、先生方の力量によって差が出るようにも思えますが、学ぼうとしている内容は特に情報技術分野については他社より優れていると感じています。

これらの理由により、教育図書を推させていただきます。以上です。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私も教育図書を1番に推したいと思います。全体の分かりやすさという点を重視して審査をしたので、極めて実践的に全てが組み立てられ、それを実践的に促すために、ワークシートを別冊で補足が十分が行き届いている点。そして、コンテンツに、めりはりをつけて、実際にこの教科書によって実生活において技術がいかに大切かと、また実践を重ねれば使えるようになるのだという、実感を伴う工夫が施されている点。そのような点で教育図書は有効に使えるのではないかと思います。今、下位委員からのIT的なことに関しても、わたしにはもうひとつわからなかったですが、その点でも評価できるという発言を聞きまして、わたし自身の教育図書という判断は、より一層揺るがぬものになりました。教育図書を一番に推したいと思います。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 私もですね、どちらでもそういう差はないかなと思っているんですけども、本来皆様に分かりやすいほうがいいなということが1つ。もう一つは、

I Tに関しては下位委員の見解が大事かなとは思っている部分があって、教育図書がいいです。

教 育 長) では私から申し上げます。これまた、I Tの専門家である下位委員の意見に逆らうのも大変だなと思ったりします。自分なりの考えで申し上げますと、東書には、各セクションの目標のすぐ直下のところに、「やってみよう、考えてみよう」というコーナーがありまして、そこで基本的な考え方、原理原則のようなものを理解させ、その上で問題の解決、最後に社会とのつながりというような流れが多く採用されていると思います。そういうふうなセクションについて言えば、一種のストーリー性みたいなことがあって、私にとっては大変わかりやすい教科書と思われます。別の言い方をしますと、技術の見方や考え方というのを社会的な要請につなげるような考え方があるのかというふうに思っています。

もう一つは、小峰委員がおっしゃっていたような、特に我々の目から見て、やさしく穏やかな色使い、デザインで、見やすい教科書だなと感じます。東書はおしなべてそうだというふうに思います。レイアウトも自然な感じで負担が少ないと思います。

一方、教育図書ですね。分冊の技術ハンドブックというのは、それ自体としては大変便利だということは、よく分かりました。ただ、実際に授業で作業するような現場に行ったときに、教科書って両方開いている必要があるのか。そうすると負担かなみたいなことも思いました。教育図書は、目当ての振り返りなんかも、やっぱりよくできていると思うので、それはそれでいいかと思えますけれども、先ほど申し上げたような理由で、東書のほうを推したいと思います。

以上、5人の意見をまとめますと、教育図書を推す方が3名、東書を推す方が2名ということなので、技術分野に関しましては教育図書を採択するということになります。それでよろしゅうございましょうか。

委員 全員) 異議なし。

教 育 長) それでは、続いて家庭にまいりたいと思います。事務局の説明を求めます。梶浦指導主事。

学校教育課指導主事) では、続けて家庭について説明をさせていただきます。

東京書籍。衣・食・住が分かれている。消費生活、私たちの健康、家族という3つの分野に細かく分かれています。防災カードとして利用できるカードがついている。

教育図書。中学生になじみのあるキャラクターの紹介により、興味・関心を引き出している。献立シールがついているので、ワークシートがなくても教科書で補うことができる。

開隆堂。学習の目標が掲載されており、各内容でどんな学びをするのかがわかりやすい。実際に働いている人のコラムが多く掲載してある。

構成が似ているので、技術と同様が良いところから、見やすさ、写真の効果的な配列などから、第1候補が東書、第2候補が教育図書となっております。以上です。

教 育 長) ご質問がなければ、ご意見をいただきます。小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 今、梶浦指導主事からもお話がありましたように、技術と家庭は構成がそれぞれ各出版社、当然ながら同じように感じました。私の推薦の理由がいつも感覚的になってしまうのですけれども、開隆堂はお料理のページが大変魅力的でした。料理本を見るような。そういう美しさはありました。ですが、やはり東京書籍のページ構成は技術同様にいいなと思います。見開きで完結でき、その先の探求もできるような構成になっているということ。それから、ページの下の方に「生活メモ」というのがついていて、大変小さいコラムなんですけれども、子どもの興味を引くし、役に立つものだなというふうに見ました。大人から見れば大した内容ではないんですけども、まだまだ生活者として十分でない子どもたちにとっては、生活メモに加えて先生からいろいろ話をしていただけたら、いい学びになるのではないかなと思いました。

そういうことも含めて、東京書籍を私は推したいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私も東京書籍を推したいと思います。図や写真が多く、視覚的に分かりやすくまとめられていると感じました。文字の情報量も十分あり、必要十分に解説されていると感じました。「いつも確かめよう」というページがあり、基礎的な内容をいつでも振り返ることができるように工夫されています。

調理に関しては、「いつも確かめよう」と「実習例」のページは、ほぼレシピ本のような構成になっていまして、すごくわかりやすかったと感じました。デジタルコンテンツはあまり充実してないわけですが、総合的に見て、非常に見やすい、わかりやすいという意味で、東京書籍を推薦させていただきます。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私も東京書籍です。どれもことさらにということは、あまりありませんで

したが、東京書籍はバランスがよい、読みやすいというのが理由です。

教育図書のほうは、情報がやや多いと思われれます。より丁寧ともいえるのですが、逆にこういう家庭のような場合は、バランスのよさのほうが大事であり、生徒が自分のこととして受け止めやすく、また取り組みやすいのではないかと思いました。開隆堂は、個性的という評価がされているわけですが、めりはりがかなりついているものの、逆にバランスが少し、東京書籍に比べると、悪いように思います。やや消去法的な選び方になっているんですが、東京書籍がいいと思います。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴木委員) 基本的には東京書籍がいいんじゃないかなというふうには思っているんですけど、どういうふうなやり方がいいか、どうやればという、使いやすさみたいなことを考えると、僕は教育図書じゃないかなと思いますので、教育図書。

教 育 長) では、私から申し上げます。私も家庭分野につきまして、東京書籍を推したいと思います。技術分野と同様に、育成すべき資質・能力が各ページの冒頭に目標として明確に示されています。その後に、基本ページが導入・展開・まとめで構成されていて、授業の組立てがしやすいように思います。

それからですね、すごくこれを強く意識したんですけれども、トータルな構成が食・衣・住、それから家族に行き、消費生活と環境に行くというように、家族についての一定のあり方を前提とせず、まずは個の多様性というのを受け止めたいというような姿勢が垣間見えました。私自身、さまざまな人間の生き方を貫いて、普遍的に存在する食・衣・住というか、衣・食・住みたいなことを基本ベースに置いて、その上で家族や地域社会の問題を展開するのが正しいと思っています。まず、家族を前提として、そこから衣・食・住が始まるというようなやり方はとらない。そういう考え方を私は支持したいと思っていますし、それに共通するものを感じました。

また、持続可能な生活というような言葉を、あえて食・衣・住のそれぞれの末尾にくっつけて、そういう問題意識を披瀝しているところもあったかと思っています。レイアウト、色使い、こういったものもいいということについては、ほかの東書の教科書と共通しています。

開隆堂も、各節の初めに問いかけがありまして、興味・関心を高めるという努力があります。あと、比較的気に入ったのは、各編の末尾に記述式の振り返り欄があって、しっかり考えさせようとしていることです。それも意識

的にやるべきだと思っていますので、これも特徴かと思っています。

他に、随所に先輩からのエールというような囲みがありますね。こういったような仕掛けも面白いというふうに思っています。

であります。最初に申し上げたように、総合的な見地から東書を推したいと思います。

では、皆様の意見を振り返りまして、東京書籍4名、教育図書が1名ということになります。東書を採択することにご異議ございませんでしょうか。

委員全員) 異議なし。

教育長) では、そのようにさせていただきます。

続きまして、残り2種目になりました。外国語についてお願いします。大黒指導主事。

学校教育課指導主事) 外国語について説明をさせていただきます。

まず、全体的傾向についてです。どの教科書も新学習指導要領の趣旨や神奈川県教科書採択の参考に応じた配慮がされています。QRコードから自宅でも音声を聞いて学習ができるようになっていきます。SDGs（持続可能な社会）を意識した題材が選ばれております。

続いて各教科書についてです。東京書籍。各ユニットの冒頭にゴールが示されており、振り返りや自己評価をしながら学習を進めていくことができる。小学校で学習した表現を使う「話す活動」で導入されているなど、小・中接続を丁寧に行う構成になっています。

開隆堂。各レッスンに扉が設けられており、学習の見通しが立てやすいようになっています。Our Project では、既習の表現や語彙を活用して行うだけでなく、共同学習に重点が置かれています。

三省堂。各レッスンが世界の歴史や文化に触れられるテーマで設定されているだけでなく、文法理解が深まるようになっています。レッスンの最後には、テーマに関連した発表活動が設けてあります。小学校で学んだ言葉の使用場面や語句、表現の振り返りから始まり、アルファベットの復習の順になっています。本文や言語活動の分量が豊富で、自律的な学習をサポートする資料も示されています。

教育出版社。英語を運用する様々な技能に関わるルールやコツを取り上げたり、学習方法のアドバイスを取り上げたりしています。話す活動は、レッスンとは独立し、巻末に設けられており、Activities Plus、即興で話す力をつけることができる。また、切り離しができる活動用のカードもついてい

ます。

光村図書。扉では写真やリスニング、動画を用いて、ユニット内容の導入ができる。ゴールでは、テーマに沿った読み教材から発表までつなげられるように構成されています。即興で話す力をつけるための学習として、Story Retelling や Let' s Talk! といった帯活動の教材が充実しています。

啓林館。各ユニットは設定されたテーマ学習を中心に構成されており、英語を通して国際交流を深めることができるようになっています。ユニットとパートの最初に学習到達目標を明示し、生徒自身が何ができるようになるかを意識しながら、自律的に学習を進められるようになっています。

ユニットで小・中のつながりを大切にしていること、取り上げている話題の内容等から、第1候補を東京書籍、ペアワークや生きた英語を使わせたいという構成から、第2候補は光村図書となっております。以上です。

教 育 長) ご質問はよろしいですか。では、小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 今お話しいただいたことに触れると思いますけれども、私も東京書籍、それから三省堂、光村図書では、小学校で学んだことに関連づけようとしているものと感じました。ただ、小学校での現在の外国語の学習がどの程度の内容で実践されているか、正確には知らないのですが、教科書に述べられていることだけでつながりを意識している会社として、先ほどの3つの、東京書籍、三省堂、光村図書を挙げたんですけれども、ほかの教科書会社でも小学校とのつながりは大事にしているところを見逃しているかもしれませんが、もしそうだとしたらお許しいただきたいと思います。

それで、私は三省堂を推したいと思います。というのは、文法理解が進むような構成になっているということ、本文や言語の分量が多いなという感じもしないではないですし、古典的な教科書というイメージは否めないかとも思うんですけれども、私にとっての英語らしい教科書として、三省堂がいいと思いました。ただ、今の英語の学びに即しているかどうか、ちょっと自信がないので、ほかの教科書、例えば東京書籍が第一候補に載っていますけれども、もちろん東京書籍の教科書でも賛成はできると思います。ただ、私にとっては文法的なものをしっかりと押さえているという点での三省堂の推薦です。以上です。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私は三省堂と東京書籍と非常に迷ったのですが、最終的に東京書籍を推したいと思います。

まずは、小・中接続が充実していると感じました。小学校で学習した単語が明示されていることも、わかりやすいと思います。各章の最初に、章のゴールとしての目標が示されていることも、見通しが立てやすく評価できます。巻末の「Can do it」という振り返りも、自己評価のために活用できそうに思いました。新しく出てきた単語や、小学校で習った単語をQRコード連動で発音を聞くことができるということも、今後のICT活用にいいことだと思います。紙面のデザインも、英語と日本語の量のバランスがいいと感じました。

以上の理由で東京書籍を推薦させていただきました。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私は東京書籍です。この英語の教科書というのは、今後ますます実践的な側面が重要になるのではないかというふうに思って、全体の教科書を拝見しました。東京書籍が一番そういう点ではプラクティカルな応用というのが、そういうのがしやすい事例が多いように思いました。先生もそういうことで、意識して授業を進めることができると思います。

三省堂も非常に手堅いのですけれども、やはり説明がやや煩瑣で、多すぎるかなと感じます。もうちょっと直感的に、英語というものに対して感覚を重視ながら接していくときの促しとしては、東京書籍のこのプレゼンの仕方というのは、未来に向いているような気がしました。それを理由に一番に東京書籍を推しました。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 私は三省堂です。評価が非常に高かったということ、どうしても英語というところと正直、日本人が外国語に関して、しゃべれないので、弱ったものだなと思って、やっぱり高校を卒業するぐらいにはですね、せめて一人で海外に行ったときに、何となく自分の立場なり、しゃべれるようなぐらいにはなっほしいなど。そういう点で言うと、どれも同じようなものなんですけど、教員の評価も高いので、私は三省堂と。

教 育 長) では私から申し上げます。私は、東書のニューホライズンを推したいと思います。小学校の英語が教科として入ってきたということもありまして、小・中接続というようなことで言うと、英語教育がまさにその頂点に立っているというふうに思っています。そういうところを東書を評価する一つの大きな理由に挙げたいと思います。

東書は、小・中接続を意識して、わざわざ「ユニットゼロ」というふうに

名付けた節を置いていることを最初に申し上げております。各学年ごとに、それぞれ全学年を総括的に振り返るような「ユニットゼロ」を置くという構成をとっています。一つの形ということかもしれませんが、そういうことに関する問題意識が高いことの表れというふうに理解をしております。

別の点を言いますと、A4判を採用しまして、比較的情報量が多いんですけども、無理なく入っているというふうに思います。また、これは大黒指導主事からも説明がありましたけれども、ユニットごとのゴールが目次にもあり、非常に鮮明です。その教材を使ってどういう力をつけさせたいのかということ、やはり強く意識し、本文でも貫いていると思います。

あと、実生活に即した即興的なコミュニケーション活動をするコーナー、それも随所にあります。それもよかったと思っています。

最後に、例えばですけど、オバマ大統領の広島訪問のような記事、話題、そういったようなものも取り上げられているところもありまして、総合的な面で東書を採用したいと思っています。

なお、皆様方の意見にあまりなかったんですけど、光村は4人の中学生が登場して、別に1人が小学校5年スタート。中3の教科書になると中学生になるのかな。たしか、その4人か5人の子どもの成長の物語になっているんですね。そういう体裁をつくっていて、非常に面白かった。3年間を通して一つの英語の世界に入り浸るといえるか、入っていきやすいような、面白い糸口なのかというふうに思っております。紙面構成も大変きれいでしたので、推薦したいと考えておりました。

では、総括いたします。東書、ニューホライズンを推す方が3名、三省堂を推す方が2名ということになりましたので、英語については東書にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 全員)

異議なし。

教 育 長)

よろしゅうございますか。では、東書を英語の教科書として採用したいと思っております。

では、最後にまいります。特別の教科 道徳でございます。事務局の説明を求めます。松本指導主事。

学校教育課指導主事)

特別の教科 道徳についてご説明をさせていただきます。

東京書籍。4つの視点が分かりやすく提示されている。巻末の心情円には、切り取り式のワークシート等がついている。文章の量は少なく、話し合う時間を重要視していることが特徴です。

教育出版。文章の量は比較的多めです。現代の社会問題であるいじめや差別にスポットが当てられています。

光村図書。シーズンごとに教科書が分かれています。学びの記録がありません。3学年を通して軸がしっかりしています。

日本文教出版。各ストーリーの最後に、必ず考えさせるコーナーがあります。道徳のノートが付録としてついており、生徒・教師ともに活用しやすいことか特徴です。

学研教育みらい。主題名をあえてつけていません。自由度が高く、多面的な考えができます。分量がやや多いです。イメージ画があり、生徒に想像させやすいことが特徴です。

あかつき。考える、話し合うというコーナーが設定されています。別冊道徳ノートがあります。文章の量が比較的多いことが特徴です。

日本教科書につきましては、見本本の送付がなく、調査研究ができなかったため、審議はいたしません。

考え、議論する道徳の実践に向け、2年前に採択しました東京書籍を継続して使用すべきと考え、東京書籍を第1候補とします。第2候補は、子どもたちが共感できる文章を掲載しているところから学研教育みらい、読み物教材としての質の高さから光村となっております。以上です。

教 育 長) ご質問よろしいですか。では、小峰委員からお願いします。

小 峰 委 員) 光村図書と東京書籍は小学校のときの使った教材をまた改めて載せて、中学生になった自分がそれを読んだときに、どう感じるか。また話し合わせたり、自分で教えたりすることで、自分の成長を感じさせるという点は大変面白い試みだなというふうに思っています。

それから、全体的に小学校の教科書と違って、教科書会社で重なる題材が少ないという点は、中学生になると広いところから題材を選ぶことができるんだなということを感じました。そういう点では、先生方もいろいろな教科書会社を参考にして題材をうまく探して、独自に使われるのもいいかなというふうに思いました。

私としては、まず学研が大変いいなと思いました。他の教科書が価値を題材の前に示している、自主自立とか、公正公平とかという価値です。そういう道徳的価値を記述していないという点では、先ほどの指導主事の説明にもありましたように、かなり自由度が高いなということ。そういう点では、いい教科書と私は思っています。

それから、各題材下についているコメントが、小さいものなんですけれども、それが教科書、これから読んでいこうとする題材の方向性とか、子どもたちが意識して読み進めるヒントにはなっているのも、好ましいと思います。

そういう点から、私は学研の教科書はいいと思ったんですが、ただ、今現在使っている東京書籍を2年間使って、2年間で終わらせてしまうのはもったいない。さらにもう少し使って、いろいろな先生方で教材研究をしていただきたいと思いますので、あえて東京書籍、学研ではなくて、東京書籍をそのまま継続して使っていただく方向で推したいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私は学研を推したいと思います。小峰委員のほうからありましたが、主題が明確になっていないということは、生徒それぞれの意識を変えていくというように理解をしました。「マイプロフィール」、「心の四季」、「学びの記録」という記入するページもあり、生徒自らが自分の成長を客観的に捉えられる工夫がされていました。命、いじめの防止、現代的な課題についての記載が多く、各単元の内容も時代に即していると感じました。現代の著名人が登場する機会も割と多く、生徒の関心を高められる構成となっています。4つの視点である「自分自身に関すること」、「人との関わり」、「集団や生活」、「生命や自然」、それぞれのテーマが色やマークで分かりやすく記述されていることも評価できると感じました。

以上の理由で、私は学研を推したいと思います。

教 育 長) 水沢委員、お願いします。

水 沢 委 員) 私も学研か東京書籍かというふうに迷いましたが、私は東京書籍を推したいと思います。類似した教科書が多数あるなかで、望ましい点はやはりバランスではないでしょうか。その点、東京書籍の教科書というのは、大変バランスがよくて、使い勝手がいい特徴があり、ことさらに何か押しつけるような色がむしろついてないというほうが、教員としては使いやすいのではないかと思います。ニュートラルというか、性格づけはあまり強くありませんけれども、東京書籍のバランスのよさというのを大事にしたいと思います。

教 育 長) 東京書籍ですね。

水 沢 委 員) はい。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 全体に道徳については、教師の力量が一番問われる。教師の皆さん方、個人でもあるわけですので、それがやっぱり非常にしやすい教科であると思っ

ているんですけれども。あらゆるところは、本当は家庭でやってもらえれば問題ない。全て普通の道徳みたいなことはね、家庭できっちり教えておいてもらってから学校へ、だと思っているんです。小学校から含めて、中学校を問わず。そういう意味からすると、あまりぶれてもらっちゃ困る。ぶれずに、ずっと一つの、私もさっき言ったように、軸みたいなものが必要なんだというふうに思っています、そういう意味からすると、やっぱり光村なのかなというふうに思っているんで、私は光村。

教 育 長) では、私でございますが、東書を推したいと思います。一昨年、大変長い時間をかけて皆さんと道徳の採択に関して議論いたしました。それを再現するつもりはないんですけれども、また指導主事からの説明にもあったことで、今や額面としては皆さん常識かもしれませんが、やはり一言申し上げたい。今、私たちが教育をしている子どもたちが、これから生きていく近未来の社会というのは、本当に現在よりも格段に変化率の大きい、また極めて予測が困難な社会だろうと思います。したがって、子どもたちは従前の経験則とか、経験知とか、あるいは何らかの格率で処理をすることができないような、本当に難しい現実に、判断しづらい現実に直面して生きていくことになるんだというふうに思います。これはとりわけ道徳的判断についてもそうであろうと、このように考えています。

したがって、子どもにとって大事なことは、道徳的な価値や規範というのを仕込むことでなくて、そういったものについて自ら考え判断し、それを内面化して表現する力を身につける。こういったことが大事だなと思います。そういったことができるような教材、教科書でありたいものだ、そのように考えております。

先ほど来、学研を推すご意見の方の話を聞いておまして、確かにそのとおりだなというふうに思うところもあります。でも、それを含めた上で、やはり総合的には東書を推していきたい。特別な教科として生まれてから、十分な検証に足る時間が経過したとは思いません。やはり現場から特に大きな不都合の声も聞こえてこない今、また大きな格段の変更があったわけでもない東書の道徳教科書、これを今変えるというのは、若干乱暴かというふうに思っております。

したがって、もう少し時間をかけて検証していきたいというようなことを考えまして、東書を推したい。内容的には、例えば「選手に選ばれて」みたいな教材を取り上げてみますと、身近な情景を取り上げて、明確な結論を押

しつけることなく、意見の多様性とか考える余地みたいなものに対する配慮をうかがわせている。そういった作り方が上手なのかと思います。発問は、なければいけないで、教員が考えてやればいい話ですけど、懇切すぎない程度に踏みとどまっているというふうに思います。全体として教師や生徒にとって、使いやすい教科書であろうかと思います。

それから、これも毎回申し上げていますが、いじめに関する教材で、いわば必須の教材みたいなものもあると思っています。「私のせいじゃない」というのは、小学校でも中学校でも載せるべきだというふうに思っています。しっかり年代に応じて考えさせたいですね。また、「傍観者でいいのか」というふうな問いかけの教材もございました。「新幹線の清掃員」、お決まりの教材かもしれませんが、やはり心を打つ、職業差別に向き合うような作品でもあるというふうに思っています。

あと、付録ですね。ここの部分が膨らんでいて、付録の中からいろいろなものを柔軟にアレンジしていくことができそうな感じもします。

そういった、トータルなことを含めて、やはり東書を推したいというふうに思います。

皆さんが推されなかったものの中で、一つ、ぜひ口にしておきたいと思うのは、日文の教科書でありまして、これはいじめに対する扱いが意欲的だというふうに考えます。考え、議論する道徳として深められるように、ロールプレイのような場面設定を用意するとか、怒りの感情と上手に付き合おうとか、私たちはなぜ人を攻撃するのかとか、そういったコラムが工夫され、多くちりばめられているように思いました。情報モラルに関しても同様というようなことで、日文に関しても捨てがたいものがありました。

前回、たしか日文の教科書について、別冊ノートについて、やりすぎだというようなことを、小峰委員も私も強く言ったような気がしますけれども、今回の別冊ノートについて見ると、問の中身が簡略化されて、非常にすっきりしたというふうに思います。ですので、別にあってもそんなに邪魔じゃない、やりすぎじゃないというふうなこともありました。そんなことを含めて、私としては非常に捨てがたいものがあるということを一言申し上げておきたい。

以上のことをまとめて言いますと、東書を推す者が3名、学研を推す者が1名、光村を推す者が1名。したがって、特別の教科 道徳の教科書としては東書を採用したいと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) では、東書を採択いたします。

以上で全 16 種目の審議が終わりました。お疲れさまでした。これまでの審議によって採択した教科用図書を確認します。事務局、お願いします。梶浦指導主事。

学校教育課指導主事) それでは確認いたします。国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。地理、帝国書院。地図、帝国書院。歴史、東京書籍。公民、東京書籍。数学、啓林館。理科、大日本図書。音楽（一般）、教育芸術社。音楽（器楽）、教育芸術社。美術、開隆堂。保健体育、学研教育みらい。技術、教育図書。家庭、東京書籍。外国語、東京書籍。特別の教科 道徳、東京書籍。以上でございます。

教 育 長) ちょっと申し訳ないんだけど、国語から公民のところまで、早口で聞き取れなかった。もう一回お願いします。

学校教育課指導主事) 国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。地理、帝国書院。地図、帝国書院。歴史、東京書籍。公民、東京書籍。

教 育 長) ありがとうございます。以上ですが、よろしゅうございましょうか。間違いないですね。それでは、以上で令和 3 年度使用中学校教科用図書について全ての採択を終了いたしました。

学校教育法附則第 9 条本について確認をしたいと思います。事務局から説明をお願いします。梶浦指導主事。

学校教育課指導主事) 学校教育法附則第 9 条本ですが、特別支援学校・特別支援学級及び高等学校等において、教科書目録に登載されている教科書以外の教科用図書を採択することができますが、本年度、中学校からの希望はございませんでした。以上です。

教 育 長) それでは、今回は審議をしないということになります。よろしゅうございますね。

以上をもちまして、日程第 1 議案第 13 号「令和 3 年度使用中学校教科用図書の採択について」を終了いたします。

本日の日程は全て終了いたしましたので、閉会します。時刻は 12 時 25 分です。大変お疲れさまでした。